

## 4-2. 生活環境

### 4-2-1. 大気環境

事業計画地周辺の大気汚染常時監視測定局等における大気質の測定結果を収集・整理することにより、大気汚染の現況、経年変化及び環境基準の達成状況について調査した。

調査対象とする測定局は、事業計画地周辺の一般環境大気測定局（以下「一般局」という。）2局、自動車排出ガス測定局（以下「自排局」という。）2局、微小粒子状物質を測定している6局、ベンゼン又はダイオキシン類を測定している4局とした。各測定局の測定項目等の概要及び位置は表4-2.1及び図4-2.1に示すとおりである。

表4-2.1 調査対象測定地点の概要

図中番号	測定地点名		所在地 (対象道路名)	用途地域	測定項目							
					常時監視測定項目					微小粒子状物質	ベンゼン	ダイオキシン類
					二酸化硫黄	二酸化窒素	一酸化炭素	浮遊粒子状物質	光化学オキシダント			
1	一般局	交野市役所	交野市私部1-1-1	住	○	○	—	○	○	—	—	○
2	自排局	国設四條畷	四條畷市江瀬美町12-11 (国道170号)	商	○	○	○	○	—	—	○	○
3	一般局	生駒	生駒市山崎町4-10	商	○	○	—	○	○	—	—	○
4	自排局	自排生駒	生駒市老分町1371-7 (第二阪奈道路)	住	○	○	○	○	—	—	—	—
5	旧シルバー人材センター		四條畷市中野新町11-35	住	—	—	—	—	—	—	○	○
6	生駒市役所		生駒市東新町8番38号	住	—	—	—	—	—	—	○	—
7	生駒市消防北分署		生駒市高山町6829-1	未	—	—	—	—	—	—	—	○
8	南コミュニティセンター		生駒市小瀬町18	住	—	—	—	—	—	—	—	○
9	大阪府環境農林水産総合研究所		大阪市東成区中道1-3-62	準工	—	—	—	—	—	○	—	—
10	事業計画地		交野市大字私市3029番地外	未	—	—	—	—	—	○	—	—
11	ひかりが丘配水場		生駒市ひかりが丘3丁目	住	—	—	—	—	○	○	—	—
12	私市（国道168号）		交野市私市9丁目	未	—	—	—	—	—	○	—	—
13	北田原町（国道168号）		生駒市北田原町	未	—	—	—	—	—	○	—	—
14	下田原（国道163号）		四條畷市大字下田原	未	—	—	—	—	—	○	—	—

注1) 表中の番号は、図4-2.1に対応している。

注2) 「○」は測定を実施している項目、「—」は測定を実施していない項目を示す。

住：住居専用地域、住居地域及び準住居地域 商：近隣商業地域及び商業地域

準工：準工業地域

未：用途地域未指定（市街化調整区域）

出典：「平成22年度 大気汚染常時測定局測定結果」（平成23年、大阪府）

「おおさかの環境2011～大阪府環境白書より～」（大阪府ホームページ）

「平成21年度浮遊粒子状物質調査結果」（大阪府ホームページ）

「ダイオキシン類に係る環境調査結果（平成22年度）」（環境省ホームページ）

「交野の環境 平成23年版」（平成24年、交野市）

「生駒市の環境（平成23年度版）」（生駒市ホームページ）

「平成22年度 環境調査報告書(大気編)」（奈良県）

四條畷市交野市清掃施設組合測定データ 等より作成

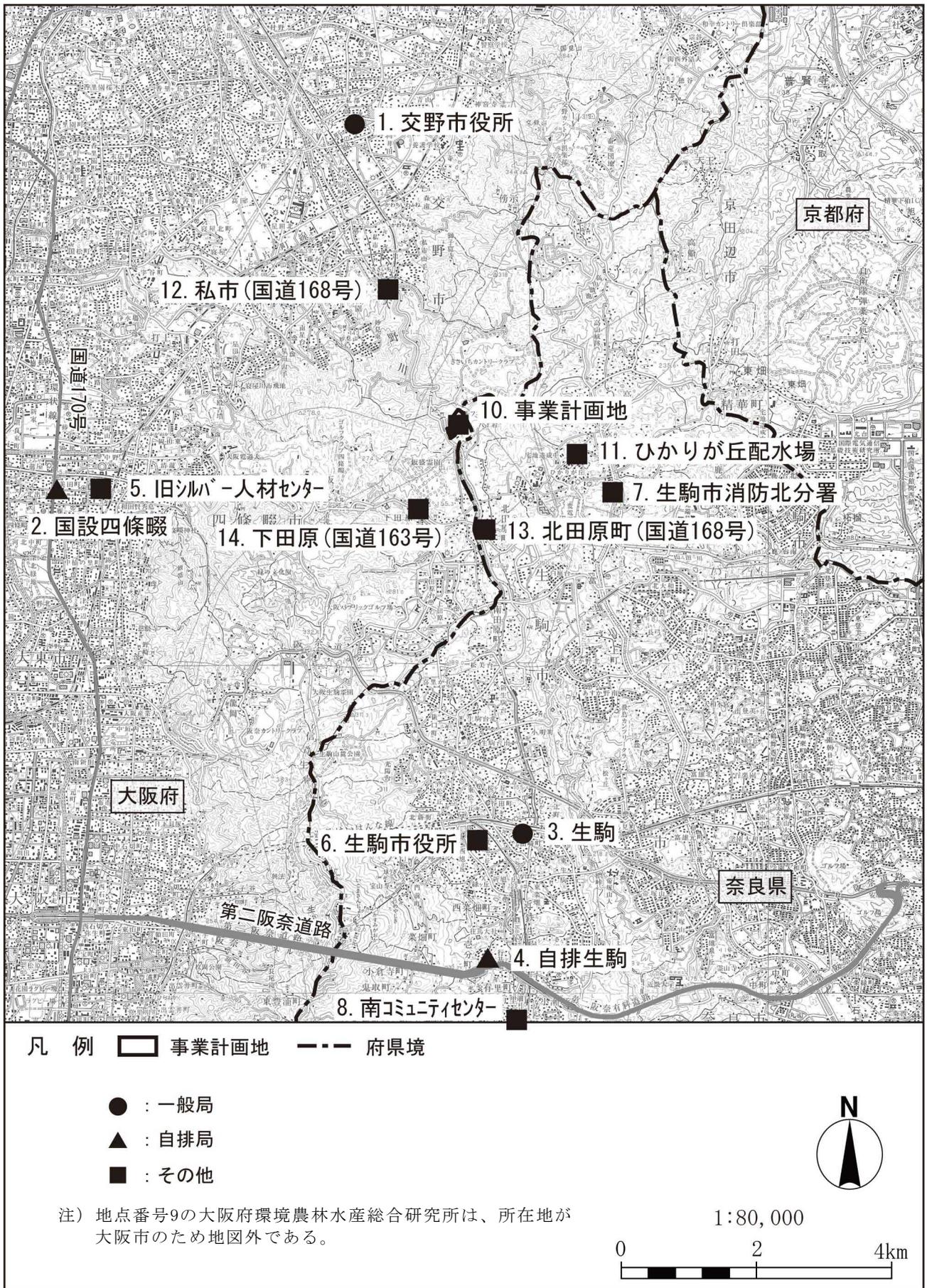


図4-2.1 大気質に係る測定地点

(1) 二酸化硫黄

二酸化硫黄の年平均濃度の経年変化は、表4-2.2及び図4-2.2に示すとおりであり、概ね横ばいの傾向にある。

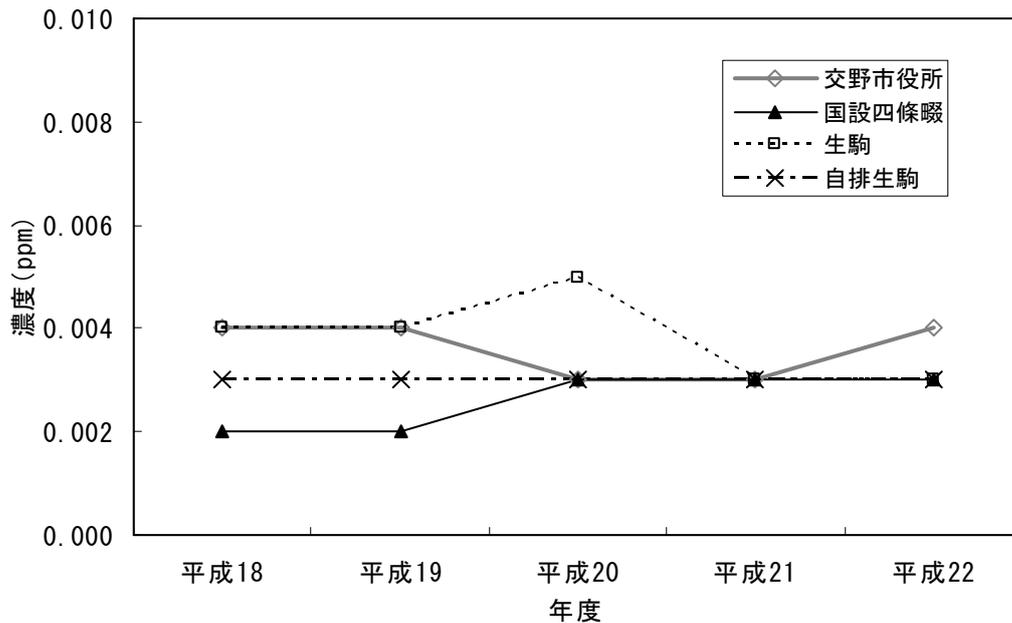
二酸化硫黄の年間測定の結果は、表4-2.3に示すとおりであり、平成22年度において、各局とも長期的評価による環境基準に適合している。

表4-2.2 二酸化硫黄の年平均値の経年変化

(単位：ppm)

測定局		年度				
		平成18	平成19	平成20	平成21	平成22
一般局	交野市役所	0.004	0.004	0.003	0.003	0.004
自排局	国設四條畷	0.002	0.002	0.003	0.003	0.003
一般局	生駒	0.004	0.004	0.005	0.003	0.003
自排局	自排生駒	0.003	0.003	0.003	0.003	0.003

出典：「平成22年度 大気汚染常時測定局測定結果」(平成23年、大阪府)  
 「平成22年度 環境調査報告書(大気編)」(奈良県)より作成



出典：「平成22年度 大気汚染常時測定局測定結果」(平成23年、大阪府)  
 「平成22年度 環境調査報告書(大気編)」(奈良県)より作成

図4-2.2 二酸化硫黄の年平均値の経年変化

表4-2.3 二酸化硫黄の年間測定結果

項目 測定局	年度	有効測定日数	測定時間	年平均値		1時間値が0.1ppmを超えた時間数とその割合		日平均値が0.04ppmを超えた日数とその割合		1時間値の最高値	日平均値の2%除外値	日平均値が0.04ppmを超えた日が2日以上連続したことの有無	環境基準の長期的評価による日平均値が0.04ppmを超えた日数	長期的評価による環境基準の適否	
				ppm	時間	時間	%	日	%						ppm
一般局 交野市役所	18	361	8699	0.004	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0.024	0.008	○	0	○
	19	363	8731	0.004	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0.021	0.007	○	0	○
	20	362	8698	0.003	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0.015	0.006	○	0	○
	21	360	8682	0.003	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0.015	0.007	○	0	○
	22	363	8688	0.004	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0.014	0.007	○	0	○
自排局 国設四條畷	18	363	8614	0.002	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0.022	0.005	○	0	○
	19	363	8621	0.002	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0.015	0.005	○	0	○
	20	363	8635	0.003	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0.016	0.006	○	0	○
	21	345	8160	0.003	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0.014	0.007	○	0	○
	22	339	8061	0.003	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0.015	0.006	○	0	○
一般局 生駒	18	364	8716	0.004	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0.024	0.008	○	0	○
	19	364	8678	0.004	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0.022	0.009	○	0	○
	20	333	7975	0.005	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0.022	0.010	○	0	○
	21	355	8497	0.003	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0.019	0.008	○	0	○
	22	360	8640	0.003	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0.019	0.006	○	0	○
自排局 自排生駒	18	363	8708	0.003	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0.024	0.007	○	0	○
	19	365	8749	0.003	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0.017	0.007	○	0	○
	20	364	8721	0.003	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0.020	0.006	○	0	○
	21	364	8725	0.003	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0.014	0.006	○	0	○
	22	364	8724	0.003	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0.018	0.006	○	0	○

注1) 「長期的評価による日平均値0.04ppmを超えた日数」とは、日平均値の高い方から2%の範囲の日平均値を除外した後の日平均値のうち0.04ppmを超えた日数である。ただし、高い方から2%の範囲の中に0.04ppmを超えた日が2日以上連続した場合、この日数は除外せず超えた日数に加える。

注2) 「長期的評価による環境基準の適否」の適合は、長期的評価による日平均値0.04ppmを超えた日数が0であること。

出典：「平成18～22年度 大気汚染常時測定局測定結果」（平成19～23年、大阪府）

「平成18～22年度 環境調査報告書(大気編)」（奈良県）より作成

## (2) 二酸化窒素

二酸化窒素の年平均濃度の経年変化は、表4-2.4及び図4-2.3に示すとおりであり、各局とも概ね横ばいの傾向にある。

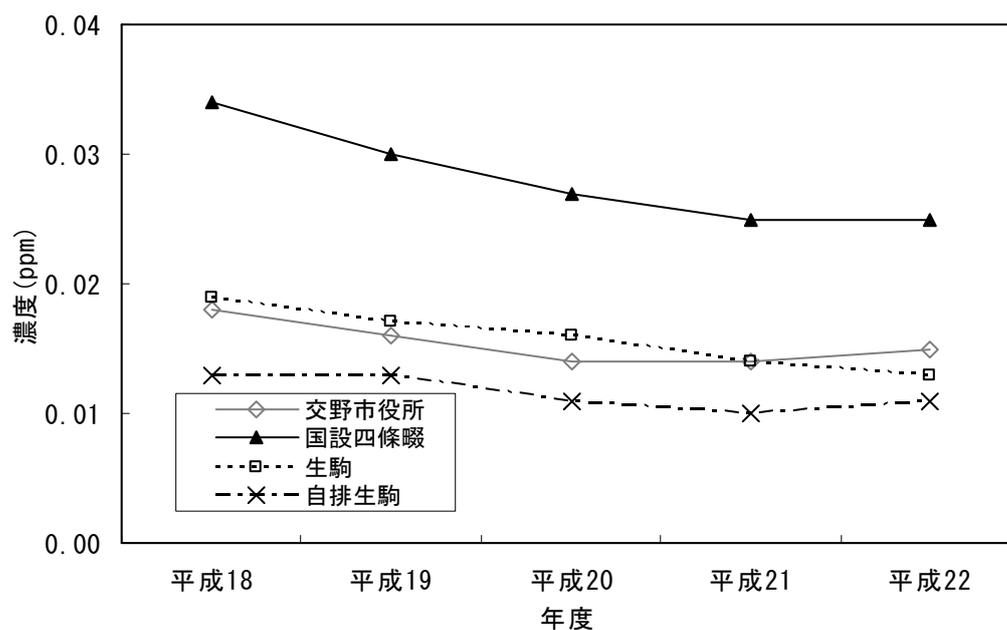
二酸化窒素の年間測定の結果は、表4-2.5に示すとおりであり、平成22年度において、各局とも環境基準に適合している。

表4-2.4 二酸化窒素の年平均値の経年変化

(単位：ppm)

測定局		年度				
		平成18	平成19	平成20	平成21	平成22
一般局	交野市役所	0.018	0.016	0.014	0.014	0.015
自排局	国設四條畷	0.034	0.030	0.027	0.025	0.025
一般局	生駒	0.019	0.017	0.016	0.014	0.013
自排局	自排生駒	0.013	0.013	0.011	0.010	0.011

出典：「平成22年度 大気汚染常時測定局測定結果」(平成23年、大阪府)  
「平成22年度 環境調査報告書(大気編)」(奈良県)より作成



出典：「平成22年度 大気汚染常時測定局測定結果」(平成23年、大阪府)  
「平成22年度 環境調査報告書(大気編)」(奈良県)より作成

図4-2.3 二酸化窒素の年平均値の経年変化

表4-2.5 二酸化窒素の年間測定結果

項目 測定局	年度	有効測定日数	測定時間	年平均値	1時間値の最高値		1時間値が0.2ppmを超えた時間数とその割合		1時間値が0.1ppm以上0.2ppm以下の時間数とその割合		日平均値が0.06ppmを超えた日数とその割合		日平均値が0.04ppm以上0.06ppm以下の日数とその割合		98%値評価による日平均値0.06ppmを超えた日数	環境基準の適否		
					ppm	ppm	時間	%	時間	%	日	%	日	%			ppm	日
一般局 交野市役所	18	361	8711	0.018	0.102	0	0.0	2	0.0	0	0.0	0	0.0	8	2.2	0.040	0	○
	19	352	8512	0.016	0.089	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	5	1.4	0.036	0	○
	20	354	8545	0.014	0.074	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	1	0.3	0.029	0	○
	21	338	8085	0.014	0.074	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	2	0.6	0.031	0	○
	22	362	8628	0.015	0.065	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	2	0.6	0.032	0	○
自排局 国設四條驛	18	355	8418	0.034	0.102	0	0.0	2	0.0	1	0.3	118	33.2	0.056	0	○		
	19	353	8485	0.030	0.105	0	0.0	1	0.0	2	0.6	67	19.0	0.052	0	○		
	20	359	8504	0.027	0.093	0	0.0	0	0.0	0	0.0	33	9.2	0.048	0	○		
	21	348	8294	0.025	0.089	0	0.0	0	0.0	0	0.0	23	6.6	0.047	0	○		
	22	331	7984	0.025	0.083	0	0.0	0	0.0	0	0.0	19	5.7	0.043	0	○		
一般局 生駒	18	361	8670	0.019	0.075	0	0.0	0	0.0	0	0.0	3	0.8	0.035	0	○		
	19	361	8675	0.017	0.077	0	0.0	0	0.0	0	0.0	1	0.3	0.033	0	○		
	20	363	8681	0.016	0.078	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0.029	0	○		
	21	357	8598	0.014	0.069	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0.028	0	○		
	22	355	8543	0.013	0.061	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0.027	0	○		
自排局 自排生駒	18	364	8719	0.013	0.074	0	0.0	0	0.0	0	0.0	1	0.3	0.028	0	○		
	19	365	8748	0.013	0.062	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0.027	0	○		
	20	364	8715	0.011	0.068	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0.022	0	○		
	21	364	8727	0.010	0.057	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0.027	0	○		
	22	364	8723	0.011	0.052	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0.026	0	○		

注1) 「98%値評価による日平均値が0.06ppmを超えた日数」とは、1年間の日平均値のうち低い方から98%の範囲にあって、かつ、0.06ppmを超えた日数である。

注2) 「環境基準の適否」の適合は、98%値評価による日平均値が0.06ppmを超えた日数が0であること。

出典：「平成18～22年度 大気汚染常時測定局測定結果」（平成19～23年、大阪府）

「平成18～22年度 環境調査報告書(大気編)」（奈良県）より作成

### (3) 一酸化窒素及び窒素酸化物

一酸化窒素及び窒素酸化物の年間測定結果は、表4-2.6に示すとおりである。

表4-2.6 一酸化窒素及び窒素酸化物の年間測定結果

項目 測定局	年度	有効測定日数	一酸化窒素 (NO)			窒素酸化物 (NO+NO <sub>2</sub> )			
			測定時間	年平均値	1時間値の最高値	測定時間	年平均値	1時間値の最高値	年平均値のNO <sub>2</sub> /(NO+NO <sub>2</sub> )
			日	時間	ppm	ppm	時間	ppm	ppm
一般局 交野市役所	18	361	8711	0.007	0.200	8711	0.025	0.283	72.0
	19	352	8512	0.006	0.305	8512	0.021	0.360	72.5
	20	354	8545	0.004	0.115	8545	0.018	0.146	77.4
	21	338	8085	0.003	0.126	8085	0.017	0.180	81.4
	22	362	8628	0.004	0.123	8628	0.019	0.181	80.9
自排局 国設四條畷	18	355	8418	0.029	0.305	8418	0.064	0.381	53.9
	19	353	8485	0.026	0.406	8485	0.056	0.504	54.3
	20	359	8504	0.022	0.308	8504	0.049	0.359	55.2
	21	348	8294	0.020	0.285	8294	0.045	0.332	56.0
	22	331	7984	0.019	0.269	7984	0.044	0.337	57.3
一般局 生駒	18	361	8668	0.006	0.130	8666	0.024	0.168	76.5
	19	361	8676	0.005	0.095	8675	0.022	0.157	78.6
	20	363	8681	0.004	0.101	8681	0.020	0.141	79.1
	21	357	8598	0.004	0.088	8598	0.018	0.118	79.1
	22	355	8543	0.003	0.091	8543	0.016	0.137	81.1
自排局 自排生駒	18	364	8721	0.008	0.115	8719	0.022	0.173	61.6
	19	365	8748	0.006	0.102	8748	0.019	0.141	66.2
	20	364	8715	0.006	0.104	8715	0.017	0.144	62.2
	21	364	8727	0.005	0.121	8727	0.015	0.156	66.5
	22	364	8723	0.005	0.113	8723	0.016	0.152	68.7

出典：「平成18～22年度 大気汚染常時測定局測定結果」（平成19～23年、大阪府）  
「平成18～22年度 環境調査報告書(大気編)」（奈良県）より作成

#### (4) 浮遊粒子状物質

浮遊粒子状物質の年平均濃度の経年変化は、表4-2.7及び図4-2.4に示すとおりであり、各局とも概ね横ばいの傾向にある。

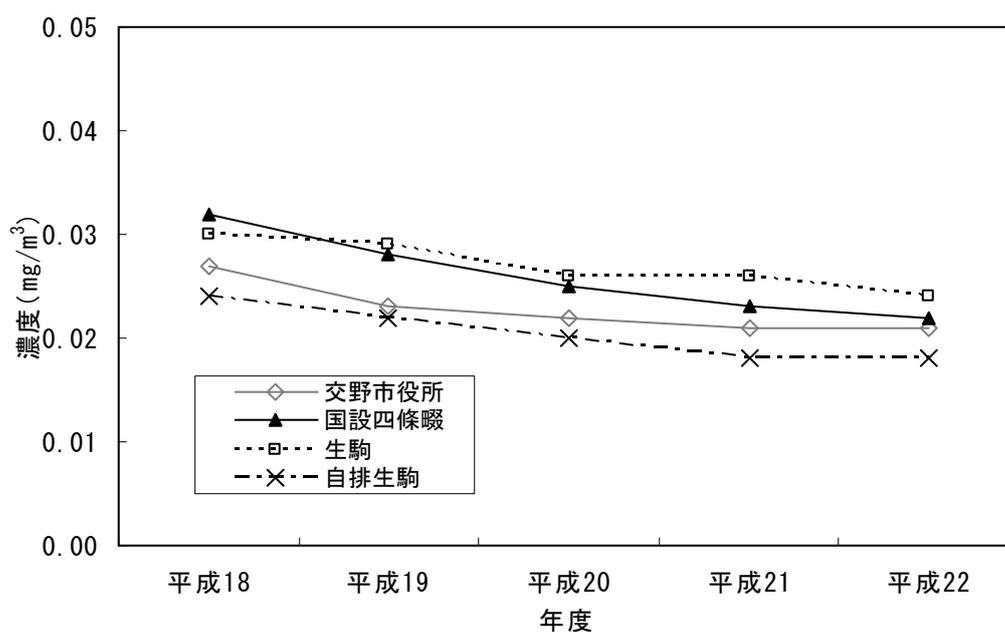
浮遊粒子状物質の年間測定の結果は、表4-2.8に示すとおりであり、平成22年度において、各局とも環境基準に適合している。

表4-2.7 浮遊粒子状物質の年平均値の経年変化

(単位：mg/m<sup>3</sup>)

測定局		年度	平成18	平成19	平成20	平成21	平成22
一般局	交野市役所		0.027	0.023	0.022	0.021	0.021
自排局	国設四條畷		0.032	0.028	0.025	0.023	0.022
一般局	生駒		0.030	0.029	0.026	0.026	0.024
自排局	自排生駒		0.024	0.022	0.020	0.018	0.018

出典：「平成22年度 大気汚染常時測定局測定結果」(平成23年、大阪府)  
 「平成22年度 環境調査報告書(大気編)」(奈良県)より作成



出典：「平成22年度 大気汚染常時測定局測定結果」(平成23年、大阪府)  
 「平成22年度 環境調査報告書(大気編)」(奈良県)より作成

図4-2.4 浮遊粒子状物質の年平均値の経年変化

表4-2.8 浮遊粒子状物質の年間測定結果

項目 測定局	年度	有効測定日数	測定時間	年平均値		1時間値が0.20mg/m <sup>3</sup> を超えた時間数とその割合		日平均値が0.10mg/m <sup>3</sup> を超えた日数とその割合		1時間値の最高値	日平均値の2%除外値	日平均値が0.10mg/m <sup>3</sup> を超えた日が2日以上連続したことの有無	環境基準の長期的評価による日平均値が0.10mg/m <sup>3</sup> を超えた日数	長期的評価による環境基準の適否
				mg/m <sup>3</sup>	時間	時間	%	日	%					
一般局 交野市役所	18	348	8381	0.027	10	0.1	1	0.3	0.472	0.062	○	0	○	
	19	354	8552	0.023	12	0.1	1	0.3	0.276	0.067	○	0	○	
	20	338	8130	0.022	0	0.0	0	0.0	0.111	0.047	○	0	○	
	21	359	8664	0.021	7	0.0	1	0.0	0.449	0.044	○	0	○	
	22	359	8646	0.021	0	0.0	0	0.0	0.105	0.053	○	0	○	
自排局 国設四條畷	18	311	7508	0.032	8	0.1	1	0.3	0.336	0.065	○	0	○	
	19	362	8662	0.028	13	0.2	1	0.3	0.309	0.068	○	0	○	
	20	363	8690	0.025	0	0.0	0	0.0	0.159	0.052	○	0	○	
	21	357	8584	0.023	7	0.0	1	0.0	0.539	0.051	○	0	○	
	22	359	8618	0.022	0	0.0	0	0.0	0.128	0.061	○	0	○	
一般局 生駒	18	363	8695	0.030	16	0.2	1	0.3	0.570	0.066	○	0	○	
	19	359	8586	0.029	20	0.2	1	0.3	0.402	0.068	○	0	○	
	20	365	8720	0.026	0	0.0	0	0.0	0.139	0.052	○	0	○	
	21	359	8639	0.026	8	0.1	1	0.3	0.534	0.051	○	0	○	
	22	361	8679	0.024	1	0.0	0	0.0	0.244	0.056	○	0	○	
自排局 自排生駒	18	362	8696	0.024	8	0.1	1	0.3	0.320	0.055	○	0	○	
	19	365	8749	0.022	1	0.0	1	0.3	0.294	0.058	○	0	○	
	20	364	8723	0.020	0	0.0	0	0.0	0.116	0.044	○	0	○	
	21	361	8681	0.018	8	0.1	1	0.3	0.419	0.041	○	0	○	
	22	363	8711	0.018	0	0.0	0	0.0	0.099	0.049	○	0	○	

注1) 「長期的評価による日平均値0.10mg/m<sup>3</sup>を超えた日数」とは、日平均値の高い方から2%の範囲の日平均値を除外した後の日平均値のうち、0.10mg/m<sup>3</sup>を超えた日数である。ただし、高い方から2%の範囲の中に0.10mg/m<sup>3</sup>を超えた日が2日以上連続した場合、この日数は除外せず超えた日数に加える。

注2) 「長期的評価による環境基準の適否」の適合は、長期的評価による日平均値0.10mg/m<sup>3</sup>を超えた日数が0であること。

出典：「平成18～22年度 大気汚染常時測定局測定結果」（平成19～23年、大阪府）  
「平成18～22年度 環境調査報告書(大気編)」（奈良県）より作成

(5) 微小粒子状物質 (PM2.5)

大阪府域における微小粒子状物質の測定は、平成21年度に大阪府環境農林水産総合研究所（大阪市東成区中道1-3-62）で実施されている。測定結果は表4-2.9に示すとおり、環境基準を超えていた。

事業計画地周辺における微小粒子状物質測定結果は、表4-2.10に示すとおりである。平成23年に一般環境2地点、沿道環境3地点、計5地点で実施しており、1日平均値の環境基準と比較すると、4地点で7日のうち1日が超えていた。

表4-2.9 季節別の微小粒子状物質 (PM2.5) 濃度 (平成21年度)

	15 $\mu\text{g}/\text{m}^3$ 超過日数	35 $\mu\text{g}/\text{m}^3$ 超過日数	期間平均値 ( $\mu\text{g}/\text{m}^3$ )	SPM濃度 ( $\mu\text{g}/\text{m}^3$ )	PM2.5/SPM	環境基準
春季	4日	—	13	19	0.70	1年平均値が 15 $\mu\text{g}/\text{m}^3$ 以下であり、 かつ、 1日平均値が35 $\mu\text{g}/\text{m}^3$ 以下
夏季	2日	—	11	18	0.58	
秋季	7日	1日 (40 $\mu\text{g}/\text{m}^3$ )	19	23	0.78	
冬季	9日	—	20	21	0.92	
年間 (56日)	22日	1日	16	21	0.76	

出典：「平成21年度 浮遊粒子状物質調査結果」（大阪府ホームページ）より作成

表4-2.10(1) 微小粒子状物質 (PM2.5) の測定結果 (一般環境)

(単位： $\mu\text{g}/\text{m}^3$ )

調査年月日 (平成23年)	事業計画地		ひかりが丘配水場		環境基準
	PM2.5	SPM	PM2.5	SPM	
10月13日(木)～14日(金) 1日目	44	66	42	68	1日平均値 が 35 $\mu\text{g}/\text{m}^3$ 以下
10月14日(金)～15日(土) 2日目	12	72	14	31	
10月15日(土)～16日(日) 3日目	10	32	8	25	
10月16日(日)～17日(月) 4日目	22	27	23	43	
10月17日(月)～18日(火) 5日目	13	39	14	43	
10月18日(火)～19日(水) 6日目	8	28	9	23	
10月19日(水)～20日(木) 7日目	14	20	15	32	
全期間 最大	44	72	42	68	
全期間 最小	8	20	8	23	
全期間 平均	18	41	18	38	

出典：四條畷市交野市清掃施設組合測定データより作成

表4-2.10(2) 微小粒子状物質 (PM2.5) の測定結果 (道路沿道)

(単位 :  $\mu\text{g}/\text{m}^3$ )

調査年月日 (平成23年)	私市 (国道168号)		北田原町 (国道168号)		下田原 (国道163号)		環境基準
	PM2.5	SPM	PM2.5	SPM	PM2.5	SPM	
10月13日(木)～14日(金) 1日目	42	55	48	83	欠測	—	1日平均値 が $35\mu\text{g}/\text{m}^3$ 以下
10月14日(金)～15日(土) 2日目	11	24	11	38	13	26	
10月15日(土)～16日(日) 3日目	11	23	12	38	12	27	
10月16日(日)～17日(月) 4日目	23	34	28	55	25	39	
10月17日(月)～18日(火) 5日目	14	22	17	50	15	27	
10月18日(火)～19日(水) 6日目	9	17	13	44	10	22	
10月19日(水)～20日(木) 7日目	13	26	17	46	16	30	
10月20日(木)～21日(金) 8日目	—	—	—	—	11	23	
全期間 最大	42	55	48	83	25	39	
全期間 最小	9	17	11	38	10	22	
全期間 平均	18	29	21	51	15	28	

注) 下田原(国道163号)では、微小粒子状物質測定装置の起動プログラム異常のため機器を交換し、翌日から調査を実施した。

出典：四條畷市交野市清掃施設組合測定データより作成

## (6) 光化学オキシダント

光化学オキシダントの年平均濃度の経年変化は、表4-2.11及び図4-2.5に示すとおりであり、各局とも概ね横ばいの傾向にある。光化学オキシダントの年間測定の結果は、表4-2.12に示すとおりであり、平成22年度において、各局とも環境基準に適合していない。

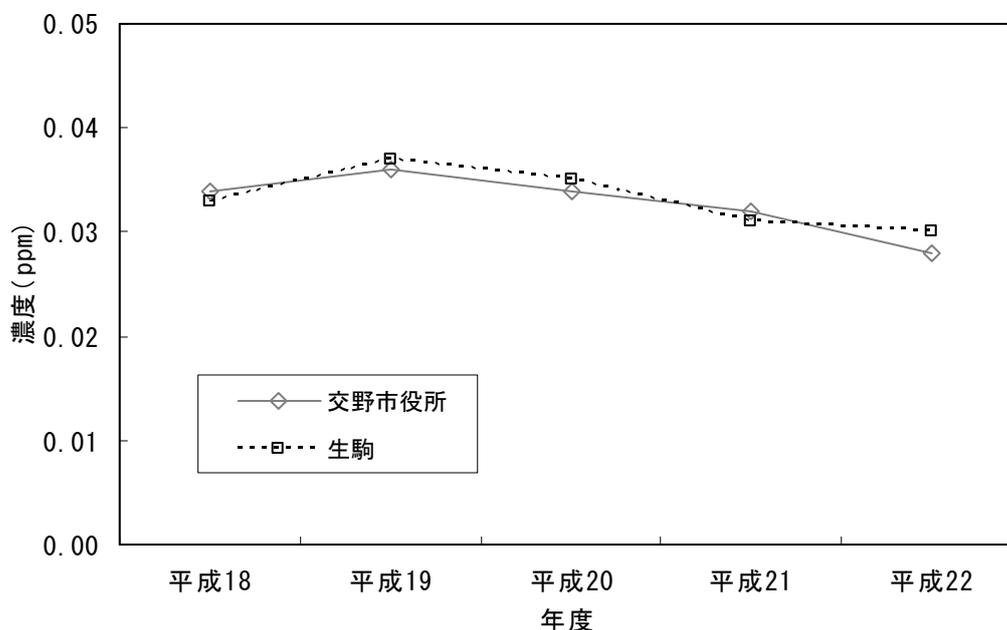
ひかりが丘配水場で夏季に7日間実施した光化学オキシダントの調査結果は、表4-2.13に示すとおりであり、1時間値が0.06ppmを超えた時間数が16時間であり、環境基準を満足していなかった。また、7日間のうち1日が光化学スモッグ注意報の発令基準値である0.12ppmを超えていた。

表4-2.11 昼間における光化学オキシダントの年平均値の経年変化

(単位：ppm)

測定局		年度				
		平成18	平成19	平成20	平成21	平成22
一般局	交野市役所	0.034	0.036	0.034	0.032	0.028
	生駒	0.033	0.037	0.035	0.031	0.030

出典：「平成22年度 大気汚染常時測定局測定結果」(平成23年、大阪府)  
「平成22年度 環境調査報告書(大気編)」(奈良県)より作成



出典：「平成22年度 大気汚染常時測定局測定結果」(平成23年、大阪府)  
「平成22年度 環境調査報告書(大気編)」(奈良県)より作成

図4-2.5 昼間における光化学オキシダントの年平均値の経年変化

表4-2.12 昼間における光化学オキシダントの年間測定結果

項目 測定局	年度	昼間 測定 日数	昼間 測定 時間	昼間の1 時間値の 年平均値	昼間の1時間 値が0.06ppm を超えた日 数と時間数		昼間の1時間 値が0.12ppm 以上の日数 と時間数		昼間の 1時間値の 最高値	昼間の日 最高1時 間値の年 平均値	環境 基準の 適否
		日	時間	ppm	日	時間	日	時間	ppm	ppm	適○ 否×
一般局 交野 市役所	18	365	5436	0.034	102	540	7	9	0.133	0.052	×
	19	366	5466	0.036	121	673	5	11	0.132	0.055	×
	20	365	5415	0.034	115	641	2	3	0.124	0.052	×
	21	365	5427	0.032	86	450	1	1	0.123	0.048	×
	22	365	5407	0.028	60	278	0	0	0.104	0.045	×
一般局 生駒	18	365	5426	0.033	107	551	8	17	0.161	0.053	×
	19	366	5444	0.037	137	749	5	7	0.143	0.057	×
	20	365	5431	0.035	122	686	1	2	0.125	0.055	×
	21	363	5394	0.031	86	497	2	4	0.138	0.047	×
	22	365	5416	0.030	68	287	4	5	0.137	0.047	×

注1) 昼間とは5時から20時までの時間帯をいう。

注2) 「環境基準の適否」の適合は、1時間値が0.06ppmを超えた時間数が0であること。

出典：「平成18～22年度 大気汚染常時測定局測定結果」（平成19～23年、大阪府）

「平成18～22年度 環境調査報告書(大気編)」（奈良県）より作成

表4-2.13 光化学オキシダントの測定結果

項目 測定局	昼間 測定 日数	昼間 測定 時間	昼間の1 時間値の 平均値	昼間の1時間 値が0.06ppm を超えた 日数と時間		昼間の1時間 値が0.12ppm 以上の 日数と時間		昼間の 1時間値の 最高値	昼間の日 最高1時 間値の年 平均値
	日	時間	ppm	日	時間	日	時間	ppm	ppm
ひかりが 丘配水場	7	105	0.033	3	16	1	4	0.140	0.064

注1) 測定期間：平成23年8月4～10日

注2) 昼間（5時から20時までの時間帯）を対象とした。（6時から20時までの平均値）

出典：四條畷市交野市清掃施設組合測定データより作成

(7) ベンゼン

ベンゼンの年平均濃度の経年変化は、表4-2.14及び図4-2.6に示すとおりであり、平成22年度において、環境基準に適合している。

表4-2.14 ベンゼンの年平均濃度

(単位： $\mu\text{g}/\text{m}^3$ )

測定局	年度					環境基準値
	平成18	平成19	平成20	平成21	平成22	
旧シルバー人材センター	1.6	1.7	1.5	1.2	0.81	年平均値 $3\mu\text{g}/\text{m}^3$ 以下
国設四條畷	2.7	2.6	2.3	1.8	1.4	
生駒市役所	1.8	1.7	1.2	1.9	1.9	

注1) 常時監視局以外の測定地点のデータを含む。

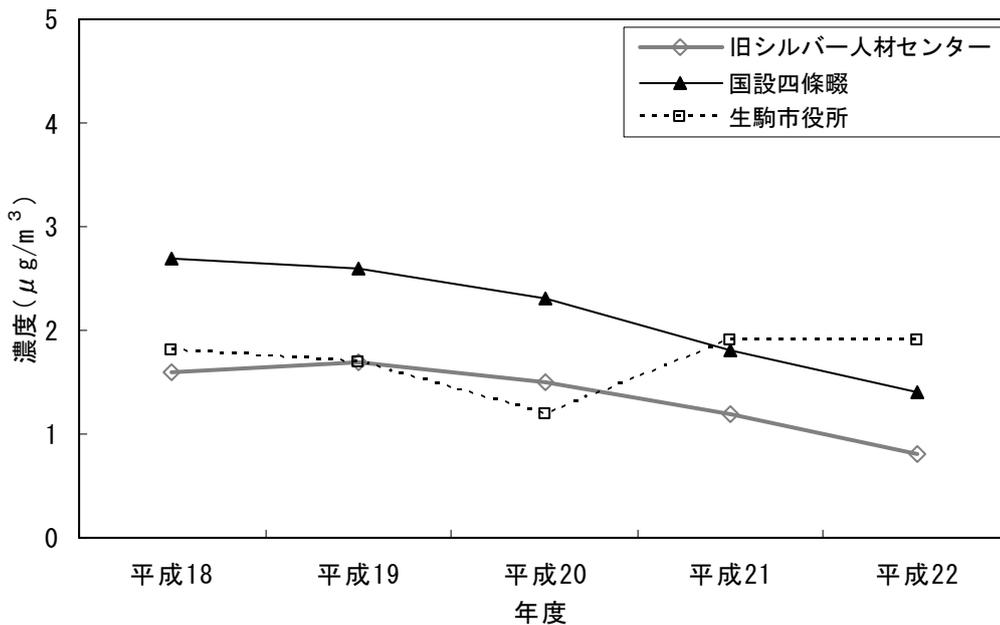
注2) 旧シルバー人材センター、国設四條畷は、月1回、年間12回の測定、生駒市役所は年間2回の測定の平均値。

出典：「大阪府環境白書 平成19～21年版」(平成19～21年、大阪府)

「おおさかの環境2010～大阪府環境白書より～」(大阪府ホームページ)

「おおさかの環境2011～大阪府環境白書より～」(大阪府ホームページ)

「生駒市の環境(平成23年度版)」(生駒市ホームページ)より作成



出典：「大阪府環境白書 平成19～21年版」(平成19～21年、大阪府)

「おおさかの環境2010～大阪府環境白書より～」(大阪府ホームページ)

「おおさかの環境2011～大阪府環境白書より～」(大阪府ホームページ)

「生駒市の環境(平成23年度版)」(生駒市ホームページ)より作成

図4-2.6 ベンゼンの年平均値の経年変化

## (8) ダイオキシン類

ダイオキシン類の年平均濃度の経年変化は、表4-2.15及び図4-2.7に示すとおりであり、平成22年度において、環境基準に適合している。

表4-2.15 ダイオキシン類の年平均値の経年変化

(単位：pg-TEQ/m<sup>3</sup>)

測定地点	年度	平成18	平成19	平成20	平成21	平成22	環境基準値
旧シルバー人材センター		0.049	0.047	0.039	0.040	0.035	年平均値 0.6pg-TEQ/m <sup>3</sup> 以下
国設四條畷		0.062	0.060	0.048	0.041	0.032	
交野市役所		0.043	0.056	0.039	0.024	0.046	
生駒		0.070	0.031	0.031	0.027	0.013	
生駒市消防北分署		0.062	0.047	0.030	0.037	0.017	
南コミュニティセンター		0.051	0.038	0.022	0.036	0.023	

注1) 常時監視局以外の測定地点のデータを含む。

注2) 年4回の調査の平均値を示す。

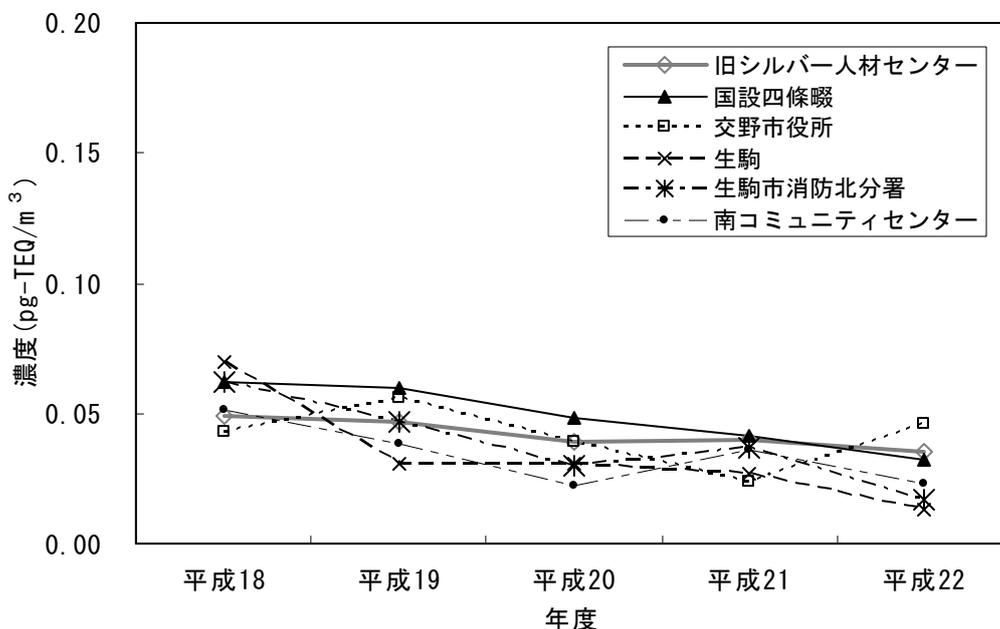
出典：「大阪府環境白書 平成19～21年版」(平成19～21年、大阪府)

「おおさかの環境2010～大阪府環境白書より～」(大阪府ホームページ)

「おおさかの環境2011～大阪府環境白書より～」(大阪府ホームページ)

「ダイオキシン類に係る環境調査結果(平成18～22年度)」(環境省ホームページ)

「生駒市の環境(平成23年度版)」(生駒市ホームページ)より作成



出典：「大阪府環境白書 平成19～21年版」(平成19～21年、大阪府)

「おおさかの環境2010～大阪府環境白書より～」(大阪府ホームページ)

「おおさかの環境2011～大阪府環境白書より～」(大阪府ホームページ)

「ダイオキシン類に係る環境調査結果(平成18～22年度)」(環境省ホームページ)

「生駒市の環境(平成23年度版)」(生駒市ホームページ)より作成

図4-2.7 ダイオキシン類の年平均値の経年変化

### (9) 温室効果ガス

大阪府域における温室効果ガス排出量推定値の推移は表4-2.16に示すとおりである。2009年度（平成21年度）の温室効果ガス排出量は5,004万トンであり、1990年度（平成2年度）と比べ13.5%の減少となっている。

また、2009年度（平成21年度）の二酸化炭素排出量は4,911万トンであり、1990年度（平成2年度）と比べ4.8%の減少となっている。

表4-2.16 大阪府域における温室効果ガス排出量の推移

(単位：万トン)

項目	年度 (平成)	1990	2006	2007	2008	2009		対1990増減率(%) (②-①)/①×100
		(H2)	(H18)	(H19)	(H20)	②	構成比 (%)	
エネルギー転換部門		72	25	33	32	25	0.5	-65.3
産業部門		2,625	2,059	2,070	1,905	1,813	36.2	-30.9
運輸部門		754	871	831	785	764	15.3	1.3
民生(家庭)部門		886	1,184	1,269	1,222	1,154	23.1	30.2
民生(業務)部門		689	1,076	1,159	1,119	1,035	20.7	50.2
廃棄物		130	141	139	130	122	2.4	-6.2
二酸化炭素計		5,156	5,356	5,501	5,194	4,911	98.1	-4.8
メタン		15	11	11	10	10	0.2	-33.3
一酸化二窒素		48	51	51	43	43	0.9	-10.4
代替フロン等		564	154	111	52	39	0.8	-93.1
計		5,783	5,572	5,674	5,299	5,004	100.0	-13.5

注) 四捨五入の関係で、各欄の値の合計と合計欄の値が一致しないものがある。

出典：「おおさかの環境2011～大阪府環境白書より～」（大阪府ホームページ）より作成

## 4-2-2. 水環境

### (1) 水質

事業計画地周辺の河川における水質調査地点の位置は、図4-2.8に示すとおりである。

#### 1) 生活環境項目

生活環境項目の水質調査結果は表4-2.17に示すとおりである。平成22年度における、生活環境項目のうち代表的な汚濁指標であるBOD（生物化学的酸素要求量）の年平均値は、天野川の4地点については1.1～1.8mg/Lの範囲にあり、環境基準値を下回っている。

表4-2.17(1) 生活環境項目の水質調査結果

地点番号			159				163			
河川名			天野川（B類型）				天野川（B類型）			
地点名			羽衣橋				逢合橋			
調査機関			四條畷市				交野市			
調査年度			平成22年度				平成22年度			
項目	単位	環境基準値 (B類型*)	最小値	最大値	平均値	測定回数	最小値	最大値	平均値	測定回数
pH	—	6.5～8.5	8.0	8.1	—	4	7.5	9.9	—	16
DO	mg/L	5	8.2	14	11	4	—	—	—	—
BOD	mg/L	3	1.6	1.9	1.8	4	0.3	1.5	1.1	8
COD	mg/L	—	4.4	5.0	4.8	4	3.5	4.6	4.0	8
SS	mg/L	25	1	4	3	4	<1	3	2	8
大腸菌群数	MPN/100mL	$5.0 \times 10^3$	$1.7 \times 10^2$	$1.6 \times 10^4$	$3.5 \times 10^3$	4	$3.3 \times 10^4$	$7.9 \times 10^5$	$3.1 \times 10^5$	8
全窒素	mg/L	—	1.1	3.8	2.3	4	0.9	2.1	1.5	8
全りん	mg/L	—	—	—	—	—	0.11	0.23	0.16	8
全亜鉛	mg/L	0.03	—	—	—	—	0.01	0.02	0.01	4
地点番号			165				166			
河川名			星田中川（類型なし）				妙見川（類型なし）			
地点名			天野川合流前				天野川合流前			
調査機関			交野市				交野市			
調査年度			平成22年度				平成22年度			
項目	単位	環境基準値 (B類型*)	最小値	最大値	平均値	測定回数	最小値	最大値	平均値	測定回数
pH	—	6.5～8.5	7.3	7.6	—	8	7.8	9.0	—	8
DO	mg/L	5	—	—	—	—	—	—	—	—
BOD	mg/L	3	1.7	5.6	3.3	4	1.5	2.0	1.7	4
COD	mg/L	—	7.1	10.1	8.8	4	3.4	4.3	3.8	4
SS	mg/L	25	1	4	3	4	<1	<1	<1	4
大腸菌群数	MPN/100mL	$5.0 \times 10^3$	$7.9 \times 10^5$	$9.2 \times 10^6$	$4.5 \times 10^6$	4	$3.3 \times 10^3$	$1.3 \times 10^6$	$5.3 \times 10^5$	4
全窒素	mg/L	—	1.5	3.7	2.8	4	1.6	2.6	2.2	4
全りん	mg/L	—	0.65	0.77	0.70	4	0.08	0.14	0.10	4
全亜鉛	mg/L	0.03	0.01	0.02	0.02	4	—	—	—	—

\* 亜鉛の環境基準値は、生物B類型の値を示す。

出典：「河川等水質調査結果」（大阪府ホームページ）より作成

表4-2.17(2) 生活環境項目の水質調査結果

地点番号		167					10			
河川名		天野川 (B類型)					天野川 (B類型* <sup>2</sup> )			
地点名		羽衣橋					市境 (羽衣橋下)			
調査機関		交野市					生駒市			
調査年度		平成22年度					平成22年度			
項目	単位	環境基準値 (B類型* <sup>1</sup> )	最小値	最大値	平均値	測定 回数	最小値	最大値	平均値	測定 回数
pH	—	6.5~8.5	7.4	8.8	—	16	7.9	8.0	—	4
DO	mg/L	5	—	—	—	—	9.6	14	11	4
BOD	mg/L	3	0.6	1.8	1.4	8	0.9	1.9	1.2	4
COD	mg/L	—	4.3	5.6	4.8	8	3.4	5.1	4.5	4
SS	mg/L	25	<1	9	3	8	1	3	2	4
大腸菌群数	MPN/100mL	$5.0 \times 10^3$	$7.9 \times 10^3$	$4.9 \times 10^5$	$1.6 \times 10^5$	8	$1.4 \times 10^3$	$4.6 \times 10^4$	$1.3 \times 10^4$	4
全窒素	mg/L	—	0.7	2.6	1.6	8	0.63	3.1	1.9	4
全りん	mg/L	—	0.07	0.32	0.17	8	0.13	0.88	0.37	4
全亜鉛	mg/L	0.03	0.01	0.04	0.02	4	—	—	—	—

\*1 亜鉛の環境基準値は、生物B類型の値を示す。

\*2 羽衣橋の上流側 (奈良県側) については類型が指定されていないが、下流ではB類型となっている。

出典：「河川等水質調査結果」 (大阪府ホームページ)

「生駒市の環境 (平成23年度版)」 (生駒市ホームページ) より作成

## 2) 健康項目

健康項目の水質調査結果は、表4-2.18に示すとおりであり、平成22年度において全ての地点で環境基準に適合している。

表4-2.18(1) 健康項目の水質調査結果

(単位：mg/L)

地点番号	159			163		165		
河川名	天野川			天野川		星田中川		
地点名	羽衣橋			逢合橋		天野川合流前		
調査機関	四條畷市			交野市		交野市		
調査年度	平成22年度			平成22年度		平成22年度		
項目	測定値	環境基準値	最大値	測定回数	最大値	測定回数	最大値	測定回数
カドミウム		0.003	<0.001	4	<0.001	4	<0.001	4
全シアン		検出されないこと	<0.1	4	<0.1	4	<0.1	4
鉛		0.01	<0.005	4	<0.005	4	<0.005	4
六価クロム (全クロム)		0.05	<0.02	4	— (<0.03)	4	— (<0.03)	4
砒素		0.01	<0.005	4	<0.005	4	<0.005	4
総水銀		0.0005	<0.0005	4	<0.0005	4	<0.0005	4
アルキル水銀		検出されないこと	—	—	—	—	—	—
ポリ塩化ビフェニル		検出されないこと	—	—	—	—	—	—
ジクロロメタン		0.02	—	—	—	—	—	—
四塩化炭素		0.002	—	—	<0.0002	4	<0.0002	4
1,2-ジクロロエタン		0.004	—	—	—	—	—	—
1,1-ジクロロエチレン		0.1	—	—	—	—	—	—
シス-1,2-ジクロロエチレン		0.04	—	—	—	—	—	—
1,1,1-トリクロロエタン		1	—	—	<0.0005	4	<0.0005	4
1,1,2-トリクロロエタン		0.006	—	—	—	—	—	—
トリクロロエチレン		0.03	—	—	<0.002	4	<0.002	4
テトラクロロエチレン		0.01	—	—	<0.0005	4	<0.0005	4
1,3-ジクロロプロペン		0.002	—	—	—	—	—	—
チウラム		0.006	—	—	—	—	—	—
シマジン		0.003	—	—	—	—	—	—
チオベンカルブ		0.02	—	—	—	—	—	—
ベンゼン		0.01	—	—	—	—	—	—
セレン		0.01	—	—	<0.002	4	<0.002	4
硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素		10	—	—	1.31	4	2.05	4
ふっ素		0.8	—	—	0.13	4	0.17	4
ほう素		1	—	—	0.03	4	0.03	4

注) 六価クロムの欄のカッコ内の数値は、全クロムの測定結果を示す。

出典：「河川等水質調査結果」(大阪府ホームページ)より作成

表4-2. 18(2) 健康項目の水質調査結果

(単位：mg/L)

地点番号		166	167	10				
河川名		妙見川	天野川	天野川				
地点名		天野川合流前	羽衣橋	市境 (羽衣橋下)				
調査機関		交野市	交野市	生駒市				
調査年度		平成22年度	平成22年度	平成22年度				
項目	測定値	環境基準値	最大値	測定回数	最大値	測定回数	最大値	測定回数
	カドミウム	0.003	—	—	<0.001	4	<0.001	1
全シアン	検出されないこと	—	—	<0.1	4	<0.1	1	
鉛	0.01	—	—	<0.005	4	<0.005	1	
六価クロム (全クロム)	0.05	—	—	— (<0.03)	— 4	<0.01	1 —	
砒素	0.01	—	—	<0.005	4	<0.001	1	
総水銀	0.0005	—	—	<0.0005	4	<0.0005	1	
アルキル水銀	検出されないこと	—	—	<0.0005	1	<0.0005	1	
ポリ塩化ビフェニル	検出されないこと	—	—	<0.0005	1	<0.0005	1	
ジクロロメタン	0.02	—	—	<0.002	1	<0.002	1	
四塩化炭素	0.002	—	—	<0.0002	4	<0.0002	1	
1,2-ジクロロエタン	0.004	—	—	<0.0004	1	<0.0004	1	
1,1-ジクロロエチレン	0.1	—	—	<0.002	1	<0.002	1	
シス-1,2-ジクロロエチレン	0.04	—	—	<0.004	1	<0.004	1	
1,1,1-トリクロロエタン	1	—	—	<0.0005	4	<0.001	1	
1,1,2-トリクロロエタン	0.006	—	—	<0.0006	1	<0.0006	1	
トリクロロエチレン	0.03	—	—	<0.002	4	<0.003	1	
テトラクロロエチレン	0.01	—	—	<0.0005	4	<0.001	1	
1,3-ジクロロプロペン	0.002	—	—	<0.0002	1	<0.0002	1	
チウラム	0.006	—	—	<0.0006	1	<0.0006	1	
シマジン	0.003	—	—	<0.0003	1	<0.0003	1	
チオベンカルブ	0.02	—	—	<0.002	1	<0.002	1	
ベンゼン	0.01	—	—	<0.001	1	<0.001	1	
セレン	0.01	—	—	<0.002	4	<0.001	1	
硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素	10	—	—	1.50	4	2.6	1	
ふっ素	0.8	—	—	0.15	4	0.12	1	
ほう素	1	—	—	0.04	4	<0.1	1	

注) 六価クロムの欄のカッコ内の数値は、全クロムの測定結果を示す。

出典：「河川等水質調査結果」(大阪府ホームページ)

「生駒市の環境(平成23年度版)」(生駒市ホームページ)より作成

### 3) 特殊項目

特殊項目の平成22年度における水質調査結果は、表4-2. 19に示すとおりである。

表4-2. 19(1) 特殊項目の水質調査結果

地点番号		159				163			
河川名		天野川				天野川			
地点名		羽衣橋				逢合橋			
調査機関		四條畷市				交野市			
調査年度		平成22年度				平成22年度			
項目	単位	最小値	最大値	平均値	測定回数	最小値	最大値	平均値	測定回数
n-ヘキサン抽出物	mg/L	—	—	—	—	—	—	—	—
フェノール類	mg/L	—	—	—	—	—	—	—	—
銅	mg/L	—	—	—	—	<0.005	0.005	0.005	4
鉄（溶解性）	mg/L	—	—	—	—	0.08	0.10	0.09	4
マンガン（溶解性）	mg/L	—	—	—	—	<0.01	0.02	0.01	4
全クロム	mg/L	—	—	—	—	<0.03	<0.03	<0.03	4
陰イオン界面活性剤	mg/L	—	—	—	—	<0.01	<0.01	<0.01	4
アンモニア性窒素	mg/L	—	—	—	—	<0.04	0.13	0.07	4
硝酸性窒素	mg/L	—	—	—	—	—	—	—	—
亜硝酸性窒素	mg/L	—	—	—	—	—	—	—	—
りん酸性りん	mg/L	—	—	—	—	—	—	—	—
地点番号		165				166			
河川名		星田中川				妙見川			
地点名		天野川合流前				天野川合流前			
調査機関		交野市				交野市			
調査年度		平成22年度				平成22年度			
項目	単位	最小値	最大値	平均値	測定回数	最小値	最大値	平均値	測定回数
n-ヘキサン抽出物	mg/L	—	—	—	—	—	—	—	—
フェノール類	mg/L	—	—	—	—	—	—	—	—
銅	mg/L	<0.005	0.005	0.005	4	—	—	—	—
鉄（溶解性）	mg/L	0.10	0.25	0.16	4	—	—	—	—
マンガン（溶解性）	mg/L	0.02	0.03	0.02	4	—	—	—	—
全クロム	mg/L	<0.03	<0.03	<0.03	4	—	—	—	—
陰イオン界面活性剤	mg/L	<0.01	0.03	0.02	4	—	—	—	—
アンモニア性窒素	mg/L	0.80	1.66	1.16	4	—	—	—	—
硝酸性窒素	mg/L	—	—	—	—	—	—	—	—
亜硝酸性窒素	mg/L	—	—	—	—	—	—	—	—
りん酸性りん	mg/L	—	—	—	—	—	—	—	—

出典：「河川等水質調査結果」（大阪府ホームページ）より作成

表4-2.19(2) 特殊項目の水質調査結果

地点番号		167				10			
河川名		天野川				天野川			
地点名		羽衣橋				市境 (羽衣橋下)			
調査機関		交野市				生駒市			
調査年度		平成22年度				平成22年度			
項目	単位	最小値	最大値	平均値	測定回数	最小値	最大値	平均値	測定回数
n-ヘキサン抽出物	mg/L	—	—	—	—	—	—	—	—
フェノール類	mg/L	—	—	—	—	—	—	—	—
銅	mg/L	<0.005	<0.005	<0.005	4	—	—	—	—
鉄（溶解性）	mg/L	0.12	0.16	0.14	4	—	—	—	—
マンガン（溶解性）	mg/L	0.03	0.06	0.04	4	—	—	—	—
全クロム	mg/L	<0.03	<0.03	<0.03	4	—	—	—	—
陰イオン界面活性剤	mg/L	<0.01	<0.01	<0.01	4	—	—	—	—
アンモニア性窒素	mg/L	<0.04	0.18	0.11	4	—	—	—	—
硝酸性窒素	mg/L	—	—	—	—	—	—	—	—
亜硝酸性窒素	mg/L	—	—	—	—	—	—	—	—
りん酸性りん	mg/L	—	—	—	—	—	—	—	—

出典：「河川等水質調査結果」（大阪府ホームページ）

「生駒市の環境（平成23年度版）」（生駒市ホームページ）より作成

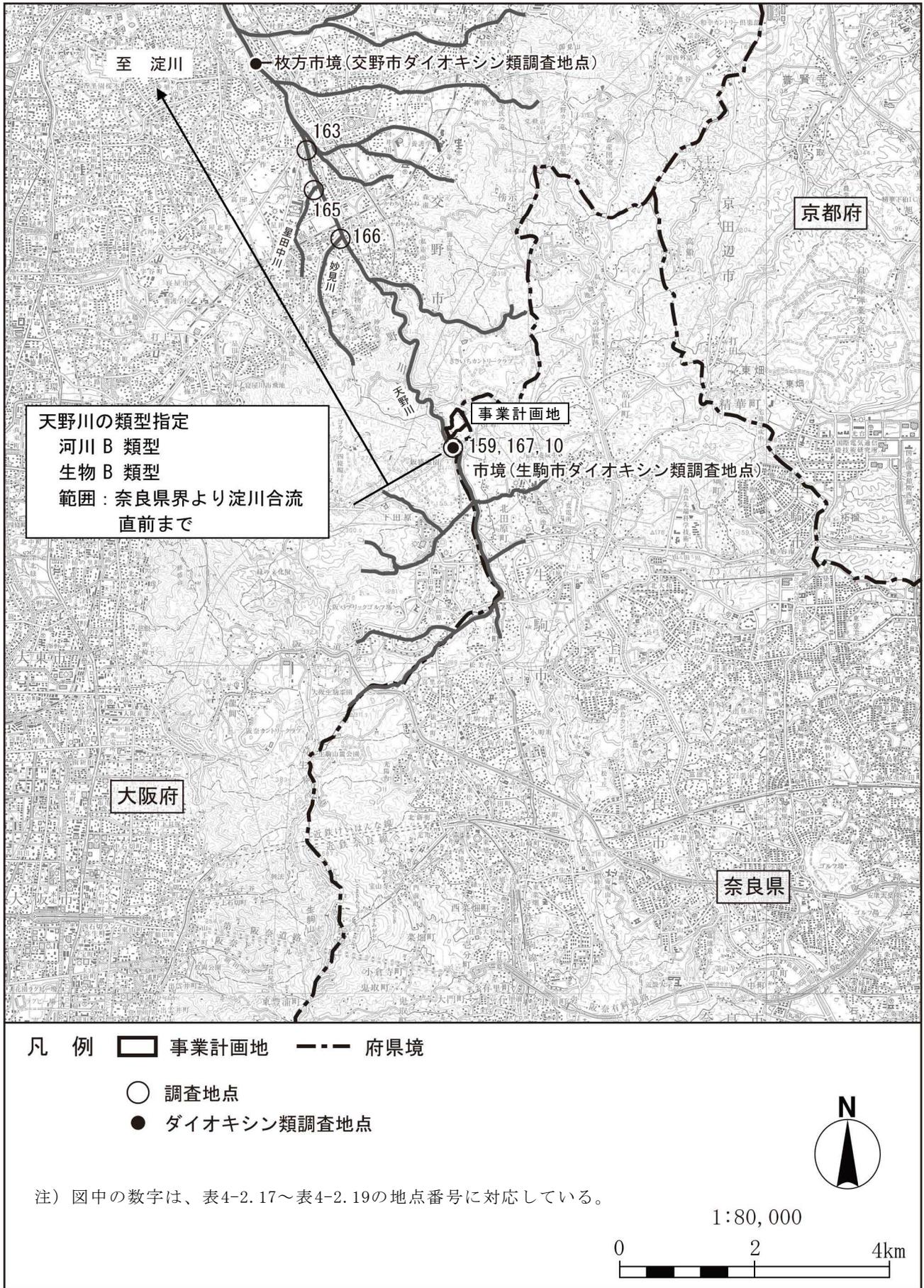


図4-2.8 水質調査地点

#### 4) ダイオキシン類

ダイオキシン類の水質調査結果は、表4-2.20に示すとおりであり、平成22年度においては環境基準値を下回っている。

表4-2.20 ダイオキシン類の水質調査結果（平成22年度）

（単位：pg-TEQ/L）

河川名	地点名	調査機関	調査頻度	測定値	環境基準値
天野川	枚方市境	交野市	年1回	0.23	1pg-TEQ/L以下
	市境	生駒市	年1回	0.13	

注) 調査地点は図4-2.8参照。

出典：「おおさかの環境2011～大阪府環境白書より～」(大阪府ホームページ)

「生駒市の環境(平成23年度版)」(生駒市ホームページ)より作成

## (2) 地下水質

事業計画地周辺における平成20～22年度の地下水質調査結果は表4-2. 21に示すとおり、健康項目25項目について、交野市5地点、生駒市13地点で調査を実施している。交野市幾野で1,2-ジクロロエチレンが、生駒市高山町1で硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素が環境基準値を上回っていたが、その他はいずれの項目も環境基準値を下回っている。

また、「交野の環境 平成23年版」によると、交野市が平成12年から20年にかけて防災井戸等で実施した地下水中のダイオキシン類濃度は0.023～0.13pg-TEQ/L（7検体）であり、環境基準値（1pg-TEQ/L以下）を下回っている。

表4-2. 21(1) 地下水質調査結果（健康項目 1枚目／2枚）

（単位：mg/L）

所在地		交野市									
地点名		私市		南星台		幾野		星田北		私市6丁目	
調査実施主体		大阪府								交野市	
項目	環境基準値	年度	年平均値	年度	年平均値	年度	年平均値	年度	年平均値	年度	年平均値
カドミウム	0.003	20	-	20	-	20	-	20	-	20	-
		21	-	21	-	21	-	21	-	21	-
		22	-	22	-	22	-	22	-	22	-
全シアン	検出されないこと	20	-	20	-	20	-	20	-	20	-
		21	-	21	-	21	-	21	-	21	-
		22	-	22	-	22	-	22	-	22	-
鉛	0.01	20	-	20	-	20	-	20	-	20	-
		21	-	21	-	21	-	21	-	21	-
		22	-	22	-	22	-	22	-	22	-
六価クロム	0.05	20	-	20	-	20	-	20	-	20	-
		21	-	21	-	21	-	21	-	21	-
		22	-	22	-	22	-	22	-	22	-
砒素	0.01	20	-	20	-	20	-	20	-	20	-
		21	-	21	-	21	-	21	-	21	-
		22	-	22	-	22	-	22	-	22	-
総水銀	0.0005	20	-	20	<0.0005	20	-	20	-	20	-
		21	-	21	<0.0005	21	-	21	-	21	-
		22	-	22	-	22	-	22	-	22	-
アルキル水銀	検出されないこと	20	-	20	-	20	-	20	-	20	-
		21	-	21	-	21	-	21	-	21	-
		22	-	22	-	22	-	22	-	22	-
ジクロロメタン	0.02	20	-	20	-	20	-	20	-	20	-
		21	-	21	-	21	-	21	-	21	-
		22	-	22	-	22	-	22	-	22	-
四塩化炭素	0.002	20	-	20	-	20	-	20	-	20	-
		21	-	21	-	21	-	21	-	21	-
		22	-	22	-	22	-	22	-	22	-
1,2-ジクロロエタン	0.004	20	-	20	-	20	-	20	-	20	-
		21	-	21	-	21	-	21	-	21	-
		22	-	22	-	22	-	22	-	22	-

注) 交野市の値は年2回の調査の平均値を示すが、私市は平成21年度において年1回の調査である。

出典：「大阪府環境白書 平成21年版」（平成21年、大阪府）

「おおさかの環境2010～大阪府環境白書より～」（大阪府ホームページ）

「おおさかの環境2011～大阪府環境白書より～」（大阪府ホームページ）

「交野の環境 平成21～23年版」（平成22～24年、交野市）より作成

表4-2. 21(2) 地下水質調査結果（健康項目 2枚目／2枚）

（単位：mg/L）

所在地		交野市									
地点名		私市		南星台		幾野		星田北		私市6丁目	
調査実施主体		大阪府									
項目	環境基準値	年度	年平均値	年度	年平均値	年度	年平均値	年度	年平均値	年度	年平均値
1,1-ジクロロエチレン	0.1	20	<0.002	20	-	20	<0.002	20	<0.002	20	-
		21	<0.002	21	-	21	<0.002	21	<0.002	21	-
		22	-	22	-	22	<0.002	22	-	22	-
1,2-ジクロロエチレン	0.04	20	<0.004	20	-	20	*0.065	20	<0.007	20	-
		21	<0.004	21	-	21	*0.089	21	<0.005	21	-
		22	-	22	-	22	*0.13	22	-	22	-
1,1,1-トリクロロエタン	1	20	<0.0005	20	-	20	<0.0005	20	<0.0005	20	<0.001
		21	<0.0005	21	-	21	<0.0005	21	<0.0005	21	<0.001
		22	-	22	-	22	<0.0005	22	-	22	<0.0005
1,1,2-トリクロロエタン	0.006	20	-	20	-	20	-	20	-	20	-
		21	-	21	-	21	-	21	-	21	-
		22	-	22	-	22	-	22	-	22	-
トリクロロエチレン	0.03	20	<0.002	20	-	20	<0.002	20	<0.002	20	<0.001
		21	<0.002	21	-	21	<0.002	21	<0.002	21	<0.001
		22	-	22	-	22	<0.002	22	-	22	<0.001
テトラクロロエチレン	0.01	20	<0.0005	20	-	20	0.0047	20	<0.0005	20	0.0035
		21	<0.0005	21	-	21	0.0047	21	<0.0005	21	0.0015
		22	-	22	-	22	0.005	22	-	22	0.002
1,3-ジクロロプロペン	0.002	20	-	20	-	20	-	20	-	20	-
		21	-	21	-	21	-	21	-	21	-
		22	-	22	-	22	-	22	-	22	-
チラウム	0.006	20	-	20	-	20	-	20	-	20	-
		21	-	21	-	21	-	21	-	21	-
		22	-	22	-	22	-	22	-	22	-
シマジン	0.003	20	-	20	-	20	-	20	-	20	-
		21	-	21	-	21	-	21	-	21	-
		22	-	22	-	22	-	22	-	22	-
チオベンカルブ	0.02	20	-	20	-	20	-	20	-	20	-
		21	-	21	-	21	-	21	-	21	-
		22	-	22	-	22	-	22	-	22	-
ベンゼン	0.01	20	-	20	-	20	-	20	-	20	-
		21	-	21	-	21	-	21	-	21	-
		22	-	22	-	22	-	22	-	22	-
セレン	0.01	20	-	20	-	20	-	20	-	20	-
		21	-	21	-	21	-	21	-	21	-
		22	-	22	-	22	-	22	-	22	-
硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素	10	20	-	20	-	20	-	20	-	20	-
		21	-	21	-	21	-	21	-	21	-
		22	-	22	-	22	-	22	-	22	-
ふっ素	0.8	20	-	20	-	20	-	20	-	20	-
		21	-	21	-	21	-	21	-	21	-
		22	-	22	-	22	-	22	-	22	-
ほう素	1	20	-	20	-	20	-	20	-	20	-
		21	-	21	-	21	-	21	-	21	-
		22	-	22	-	22	-	22	-	22	-

注1) \*は環境基準値を上回ったもの。

注2) 交野市の値は年2回の調査の平均値を示すが、私市は平成21年度において年1回の調査である。

注3) 平成20、21年度は、1,2-ジクロロエチレンであったが、平成22年以降は、環境基準改正により、1,1,2-トリクロロエタンとなった。

出典：「大阪府環境白書 平成21年版」（平成21年、大阪府）

「おおさかの環境2010～大阪府環境白書より～」（大阪府ホームページ）

「おおさかの環境2011～大阪府環境白書より～」（大阪府ホームページ）

「交野の環境 平成21～23年版」（平成22～24年、交野市）より作成

表4-2. 21(3) 地下水質調査結果（健康項目 1枚目/2枚）

(単位：mg/L)

所在地		生駒市																							
地点名		高山町1				高山町2				高山町3				高山町4				高山町5				北田原町			
調査実施主体		奈良県																							
項目	環境基準値	年度	測定値	年度	測定値	年度	測定値	年度	測定値	年度	測定値	年度	測定値	年度	測定値	年度	測定値	年度	測定値	年度	測定値	年度	測定値		
カドミウム	0.003	20	<0.001	20	-	20	<0.001	20	-	20	-	20	-	20	-	20	-	20	<0.001	20	<0.001	20	<0.001	20	<0.001
		21	-	21	-	21	-	21	<0.001	21	-	21	-	21	-	21	-	21	-	21	-	21	-	21	-
		22	-	22	-	22	-	22	-	22	<0.001	22	<0.001	22	<0.001	22	<0.001	22	-	22	-	22	-	22	-
全シアン	検出されないこと	20	<0.1	20	-	20	<0.1	20	-	20	-	20	-	20	-	20	-	20	<0.1	20	<0.1	20	<0.1	20	<0.1
		21	-	21	-	21	-	21	ND	21	-	21	-	21	-	21	-	21	-	21	-	21	-	21	-
		22	-	22	-	22	-	22	-	22	-	22	ND	22	ND	22	ND	22	-	22	-	22	-	22	-
鉛	0.01	20	<0.002	20	-	20	0.002	20	-	20	-	20	-	20	-	20	-	20	<0.002	20	<0.002	20	<0.002	20	<0.002
		21	-	21	-	21	-	21	<0.002	21	-	21	-	21	-	21	-	21	-	21	-	21	-	21	-
		22	-	22	-	22	-	22	-	22	-	22	0.002	22	<0.002	22	<0.002	22	-	22	-	22	-	22	-
六価クロム	0.05	20	<0.01	20	-	20	<0.01	20	-	20	-	20	-	20	-	20	-	20	<0.01	20	<0.01	20	<0.01	20	<0.01
		21	-	21	-	21	-	21	<0.01	21	-	21	-	21	-	21	-	21	-	21	-	21	-	21	-
		22	-	22	-	22	-	22	-	22	-	22	<0.01	22	<0.01	22	<0.01	22	-	22	-	22	-	22	-
砒素	0.01	20	<0.001	20	-	20	<0.001	20	-	20	-	20	-	20	-	20	-	20	<0.001	20	<0.001	20	<0.001	20	<0.001
		21	-	21	-	21	-	21	<0.001	21	-	21	-	21	-	21	-	21	-	21	-	21	-	21	-
		22	-	22	-	22	-	22	-	22	-	22	<0.001	22	<0.001	22	<0.001	22	-	22	-	22	-	22	-
総水銀	0.0005	20	<0.0005	20	-	20	<0.0005	20	-	20	-	20	-	20	-	20	-	20	<0.0005	20	<0.0005	20	<0.0005	20	<0.0005
		21	-	21	-	21	-	21	<0.0005	21	-	21	-	21	-	21	-	21	-	21	-	21	-	21	-
		22	-	22	-	22	-	22	-	22	-	22	<0.0005	22	<0.0005	22	<0.0005	22	-	22	-	22	-	22	-
アルキル水銀	検出されないこと	20	-	20	-	20	-	20	-	20	-	20	-	20	-	20	-	20	-	20	-	20	-	20	-
		21	-	21	-	21	-	21	-	21	-	21	-	21	-	21	-	21	-	21	-	21	-	21	-
		22	-	22	-	22	-	22	-	22	-	22	-	22	-	22	-	22	-	22	-	22	-	22	-
ジクロロメタン	0.02	20	<0.0002	20	-	20	<0.0002	20	-	20	-	20	-	20	-	20	-	20	<0.0002	20	<0.0002	20	<0.0002	20	<0.0002
		21	-	21	-	21	-	21	<0.0002	21	-	21	-	21	-	21	-	21	-	21	-	21	-	21	-
		22	-	22	-	22	-	22	-	22	-	22	<0.0002	22	<0.0002	22	<0.0002	22	-	22	-	22	-	22	-
四塩化炭素	0.002	20	<0.0002	20	-	20	<0.0002	20	-	20	-	20	-	20	-	20	-	20	<0.0002	20	<0.0002	20	<0.0002	20	<0.0002
		21	-	21	-	21	-	21	<0.0002	21	-	21	-	21	-	21	-	21	-	21	-	21	-	21	-
		22	-	22	-	22	-	22	-	22	-	22	<0.0002	22	<0.0002	22	<0.0002	22	-	22	-	22	-	22	-
1,2-ジクロロエタン	0.004	20	<0.0002	20	-	20	<0.0002	20	-	20	-	20	-	20	-	20	-	20	<0.0002	20	<0.0002	20	<0.0002	20	<0.0002
		21	-	21	-	21	-	21	<0.0002	21	-	21	-	21	-	21	-	21	-	21	-	21	-	21	-
		22	-	22	-	22	-	22	-	22	-	22	<0.0002	22	<0.0002	22	<0.0002	22	-	22	-	22	-	22	-
1,1-ジクロロエチレン	0.1	20	<0.0002	20	-	20	<0.0002	20	-	20	-	20	-	20	-	20	-	20	<0.0002	20	<0.0002	20	<0.0002	20	<0.0002
		21	-	21	-	21	-	21	<0.0002	21	-	21	-	21	-	21	-	21	-	21	-	21	-	21	-
		22	-	22	-	22	-	22	-	22	-	22	<0.0002	22	<0.0002	22	<0.0002	22	-	22	-	22	-	22	-
1,2-ジクロロエチレン	0.04	20	<0.0002	20	-	20	<0.0002	20	-	20	-	20	-	20	-	20	-	20	<0.0002	20	<0.0002	20	<0.0002	20	<0.0002
		21	-	21	-	21	-	21	<0.0002	21	-	21	-	21	-	21	-	21	-	21	-	21	-	21	-
		22	-	22	-	22	-	22	-	22	-	22	<0.0002	22	<0.0002	22	<0.0002	22	-	22	-	22	-	22	-

注1) 生駒市の値は個々のデータを示しており、高山町1は平成20年度のみ年2回、その他の地点は年1回の調査である。

注2) 平成20、21年度は、ソス-1,2-ジクロロエチレンであったが、平成22年以降は、環境基準改正により、1,2-ジクロロエチレンとなった。

出典：「平成20～22年度 環境調査報告書(水質編)」(奈良県)より作成

表4-2. 21(4) 地下水質調査結果（健康項目 2枚目／2枚）

（単位：mg/L）

所在地		生駒市											
地点名		高山町1		高山町2		高山町3		高山町4		高山町5		北田原町	
調査実施主体		奈良県											
項目	環境基準値	年度	測定値	年度	測定値	年度	測定値	年度	測定値	年度	測定値	年度	測定値
1, 1, 1-トリクロロエタン	1	20	<0.0002	20	-	20	<0.0002	20	-	20	-	20	<0.0002
		21	-	21	-	21	-	21	<0.0002	21	-	21	-
		22	-	22	-	22	-	22	-	22	<0.0002	22	<0.0002
1, 1, 2-トリクロロエタン	0.006	20	<0.0002	20	-	20	<0.0002	20	-	20	-	20	<0.0002
		21	-	21	-	21	-	21	<0.0002	21	-	21	-
		22	-	22	-	22	-	22	-	22	<0.0002	22	<0.0002
トリクロロエチレン	0.03	20	<0.0002	20	-	20	<0.0002	20	-	20	-	20	<0.0002
		21	-	21	-	21	-	21	<0.0002	21	-	21	-
		22	-	22	-	22	-	22	-	22	<0.0002	22	<0.0002
テトラクロロエチレン	0.01	20	<0.0002	20	-	20	<0.0002	20	-	20	-	20	<0.0002
		21	-	21	-	21	-	21	<0.0002	21	-	21	-
		22	-	22	-	22	-	22	-	22	<0.0002	22	<0.0002
1, 3-ジクロロプロペン	0.002	20	<0.0002	20	-	20	<0.0002	20	-	20	-	20	<0.0002
		21	-	21	-	21	-	21	<0.0002	21	-	21	-
		22	-	22	-	22	-	22	-	22	<0.0002	22	<0.0002
チラウム	0.006	20	<0.001	20	-	20	<0.001	20	-	20	-	20	<0.001
		21	-	21	-	21	-	21	<0.001	21	-	21	-
		22	-	22	-	22	-	22	-	22	<0.001	22	<0.001
シマジン	0.003	20	<0.0003	20	-	20	<0.0003	20	-	20	-	20	<0.0003
		21	-	21	-	21	-	21	<0.0003	21	-	21	-
		22	-	22	-	22	-	22	-	22	<0.0003	22	<0.0003
チオベンカルブ	0.02	20	<0.002	20	-	20	<0.002	20	-	20	-	20	<0.002
		21	-	21	-	21	-	21	<0.002	21	-	21	-
		22	-	22	-	22	-	22	-	22	<0.002	22	<0.002
ベンゼン	0.01	20	<0.0002	20	-	20	<0.0002	20	-	20	-	20	<0.0002
		21	-	21	-	21	-	21	<0.0002	21	-	21	-
		22	-	22	-	22	-	22	-	22	<0.0002	22	<0.0002
セレン	0.01	20	<0.002	20	-	20	<0.002	20	-	20	-	20	<0.002
		21	-	21	-	21	-	21	<0.002	21	-	21	-
		22	-	22	-	22	-	22	-	22	<0.002	22	<0.002
硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素	10	20	*11	20	5.6	20	0.63	20	-	20	-	20	1.3
		21	*12	21	-	21	-	21	8.6	21	-	21	-
		22	*12	22	-	22	-	22	-	22	4	22	1.1
ふっ素	0.8	20	<0.1	20	-	20	<0.1	20	-	20	-	20	<0.1
		21	-	21	-	21	-	21	<0.1	21	-	21	-
		22	-	22	-	22	-	22	-	22	0.1	22	<0.1
ほう素	1	20	0.01	20	-	20	0.01	20	-	20	-	20	0.01
		21	-	21	-	21	-	21	<0.01	21	-	21	-
		22	-	22	-	22	-	22	-	22	0.01	22	<0.01

注1) \*は環境基準値を上回ったもの。

注2) 生駒市の値は個々のデータを示しており、高山町1は平成20年度のみ年2回、その他の地点は年1回の調査である。

出典：「平成20～22年度 環境調査報告書(水質編)」(奈良県)より作成

表4-2. 21(5) 地下水質調査結果（健康項目 1枚目／2枚）

(単位：mg/L)

所在地		生駒市													
地点名		辻町		萩の台		俵口町		有里町		真弓		菜畑町		南田原町	
調査実施主体		奈良県													
項目	環境基準値	年度	測定値	年度	測定値	年度	測定値	年度	測定値	年度	測定値	年度	測定値	年度	測定値
カドミウム	0.003	20	<0.001	20	<0.001	20	<0.001	20	-	20	-	20	-	20	-
		21	-	21	-	21	-	21	<0.001	21	-	21	<0.001	21	<0.001
		22	-	22	-	22	-	22	-	22	-	22	-	22	-
全シアン	検出されないこと	20	<0.1	20	<0.1	20	<0.1	20	-	20	-	20	-	20	-
		21	-	21	-	21	-	21	ND	21	-	21	ND	21	ND
		22	-	22	-	22	-	22	-	22	-	22	-	22	-
鉛	0.01	20	<0.002	20	<0.002	20	<0.002	20	-	20	-	20	-	20	-
		21	-	21	-	21	-	21	<0.002	21	-	21	0.002	21	<0.002
		22	-	22	-	22	-	22	-	22	-	22	-	22	-
六価クロム	0.05	20	<0.01	20	<0.01	20	<0.01	20	-	20	-	20	-	20	-
		21	-	21	-	21	-	21	<0.01	21	-	21	<0.01	21	<0.01
		22	-	22	-	22	-	22	-	22	-	22	-	22	-
砒素	0.01	20	<0.001	20	<0.001	20	<0.001	20	-	20	-	20	-	20	-
		21	-	21	-	21	-	21	0.001	21	-	21	<0.001	21	0.001
		22	-	22	-	22	-	22	-	22	-	22	-	22	-
総水銀	0.0005	20	<0.0005	20	<0.0005	20	<0.0005	20	-	20	<0.0005	20	-	20	-
		21	-	21	-	21	-	21	<0.0005	21	-	21	<0.0005	21	<0.0005
		22	-	22	-	22	-	22	-	22	-	22	-	22	-
アルキル水銀	検出されないこと	20	-	20	-	20	-	20	-	20	-	20	-	20	-
		21	-	21	-	21	-	21	-	21	-	21	-	21	-
		22	-	22	-	22	-	22	-	22	-	22	-	22	-
ジクロロメタン	0.02	20	<0.0002	20	<0.0002	20	<0.0002	20	-	20	-	20	-	20	-
		21	-	21	-	21	-	21	<0.0002	21	-	21	<0.0002	21	<0.0002
		22	-	22	-	22	-	22	-	22	-	22	-	22	-
四塩化炭素	0.002	20	<0.0002	20	<0.0002	20	<0.0002	20	-	20	-	20	-	20	-
		21	-	21	-	21	-	21	<0.0002	21	-	21	<0.0002	21	<0.0002
		22	-	22	-	22	-	22	-	22	-	22	-	22	-
1,2-ジクロロエタン	0.004	20	<0.0002	20	<0.0002	20	<0.0002	20	-	20	-	20	-	20	-
		21	-	21	-	21	-	21	<0.0002	21	-	21	<0.0002	21	<0.0002
		22	-	22	-	22	-	22	-	22	-	22	-	22	-
1,1-ジクロロエチレン	0.1	20	<0.0002	20	<0.0002	20	<0.0002	20	-	20	-	20	-	20	-
		21	-	21	-	21	-	21	<0.0002	21	-	21	<0.0002	21	<0.0002
		22	-	22	-	22	-	22	-	22	-	22	-	22	-
1,2-ジクロロエチレン	0.04	20	<0.0002	20	<0.0002	20	<0.0002	20	-	20	-	20	-	20	-
		21	-	21	-	21	-	21	<0.0002	21	-	21	<0.0002	21	<0.0002
		22	-	22	-	22	-	22	-	22	-	22	-	22	-

注1) 年1回の調査である。

注2) 平成20、21年度は、シス-1,2-ジクロロエチレンであったが、平成22年以降は、環境基準改正により、1,2-ジクロロエチレンとなった。

出典：「平成20～22年度 環境調査報告書(水質編)」(奈良県)より作成

表4-2. 21(6) 地下水質調査結果（健康項目 2枚目/2枚）

(単位：mg/L)

所在地		生駒市													
地点名		辻町		萩の台		俵口町		有里町		真弓		菜畑町		南田原町	
調査実施主体		奈良県													
項目	環境基準値	年度	測定値	年度	測定値	年度	測定値	年度	測定値	年度	測定値	年度	測定値	年度	測定値
1,1,1-トリクロロエタン	1	20	<0.0002	20	<0.0002	20	<0.0002	20	-	20	-	20	-	20	-
		21	-	21	-	21	-	21	<0.0002	21	-	21	<0.0002	21	<0.0002
		22	-	22	-	22	-	22	-	22	-	22	-	22	-
1,1,2-トリクロロエタン	0.006	20	<0.0002	20	<0.0002	20	<0.0002	20	-	20	-	20	-	20	-
		21	-	21	-	21	-	21	<0.0002	21	-	21	<0.0002	21	<0.0002
		22	-	22	-	22	-	22	-	22	-	22	-	22	-
トリクロロエチレン	0.03	20	<0.0002	20	<0.0002	20	<0.0002	20	-	20	-	20	-	20	-
		21	-	21	-	21	-	21	<0.0002	21	-	21	<0.0002	21	<0.0002
		22	-	22	-	22	-	22	-	22	-	22	-	22	-
テトラクロロエチレン	0.01	20	<0.0002	20	<0.0002	20	<0.0002	20	-	20	-	20	-	20	-
		21	-	21	-	21	-	21	<0.0002	21	-	21	<0.0002	21	<0.0002
		22	-	22	-	22	-	22	-	22	-	22	-	22	-
1,3-ジクロロプロペン	0.002	20	<0.0002	20	<0.0002	20	<0.0002	20	-	20	-	20	-	20	-
		21	-	21	-	21	-	21	<0.0002	21	-	21	<0.0002	21	<0.0002
		22	-	22	-	22	-	22	-	22	-	22	-	22	-
チラウム	0.006	20	<0.001	20	<0.001	20	<0.001	20	-	20	-	20	-	20	-
		21	-	21	-	21	-	21	<0.001	21	-	21	<0.001	21	<0.001
		22	-	22	-	22	-	22	-	22	-	22	-	22	-
シマジン	0.003	20	<0.0003	20	<0.0003	20	<0.0003	20	-	20	-	20	-	20	-
		21	-	21	-	21	-	21	<0.0003	21	-	21	<0.0003	21	<0.0003
		22	-	22	-	22	-	22	-	22	-	22	-	22	-
チオベンカルブ	0.02	20	<0.002	20	<0.002	20	<0.002	20	-	20	-	20	-	20	-
		21	-	21	-	21	-	21	<0.002	21	-	21	<0.002	21	<0.002
		22	-	22	-	22	-	22	-	22	-	22	-	22	-
ベンゼン	0.01	20	<0.0002	20	<0.0002	20	<0.0002	20	-	20	-	20	-	20	-
		21	-	21	-	21	-	21	<0.0002	21	-	21	<0.0002	21	<0.0002
		22	-	22	-	22	-	22	-	22	-	22	-	22	-
セレン	0.01	20	<0.002	20	<0.002	20	<0.002	20	-	20	-	20	-	20	-
		21	-	21	-	21	-	21	<0.002	21	-	21	<0.002	21	<0.002
		22	-	22	-	22	-	22	-	22	-	22	-	22	-
硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素	10	20	1.6	20	9.4	20	1.1	20	-	20	-	20	-	20	-
		21	-	21	-	21	-	21	2.9	21	-	21	0.65	21	4.9
		22	-	22	-	22	-	22	-	22	-	22	-	22	-
ふっ素	0.8	20	<0.1	20	<0.1	20	<0.1	20	-	20	-	20	-	20	-
		21	-	21	-	21	-	21	0.2	21	-	21	<0.1	21	<0.1
		22	-	22	-	22	-	22	-	22	-	22	-	22	-
ほう素	1	20	0.01	20	0.01	20	<0.01	20	-	20	-	20	-	20	-
		21	-	21	-	21	-	21	0.15	21	-	21	<0.01	21	0.01
		22	-	22	-	22	-	22	-	22	-	22	-	22	-

注) 年1回の調査である。

出典：「平成20～22年度 環境調査報告書(水質編)」(奈良県)より作成

### 4-2-3. 土壌環境

事業計画地周辺におけるダイオキシン類の土壌調査結果は表4-2.22に示すとおりであり、32地点（交野市、四條畷市の29地点は図4-2.9を参照）で調査を実施している。調査結果は、全ての地点で環境基準値を下回っている。

表4-2.22 ダイオキシン類の土壌調査結果

(単位：pg-TEQ/g)

地点 番号	測定場所	年度						
		平成16	平成17	平成18	平成19	平成20	平成21	平成22
1	星田西（リニアパーク南公園）	0.043	—	—	—	—	—	—
2	藤が尾（天野川緑地）	11	—	—	—	—	—	—
3	寺（府立交野養護学校）	—	0.61	—	—	—	—	—
4	私市山手（私市山手南公園）	—	11	—	—	—	—	—
5	南星台（南星台4丁目広場）	—	6.9	—	—	—	—	—
6	交野小学校	—	—	0.65	—	—	—	—
7	第四中学校	—	—	0.68	—	—	—	—
8	旭小学校	—	—	0.66	—	—	—	—
9	私市（私市小学校）	—	—	—	0.10	—	—	—
10	岩船小学校	—	—	—	—	0.24	—	—
11	第一中学校	—	—	—	—	0.095	—	—
12	星田小学校	—	—	—	—	—	0.64	—
13	妙見坂小学校	—	—	—	—	—	0.19	—
14	第三中学校	—	—	—	—	—	0.40	—
15	大字逢阪（野外活動センター）	—	—	—	—	2.5	—	—
16	田原台（北谷公園）	—	—	—	—	—	—	—
17	田原台（田原小学校）	0.093	—	—	—	—	—	—
18	岡山東（市民グラウンド）	0.086	—	—	—	—	—	—
19	清滝新町（府営清滝住宅内公園）	1.6	—	—	—	—	—	—
20	清滝（府立緑の文化園むろいけ園地森の宝島）	2.6	—	—	—	—	—	—
21	四條畷市 田原台（田原中学校）	—	0.060	—	—	—	—	—
22	岡山東（四條畷中学校）	—	0.12	—	—	—	—	—
23	田原台（田原台三丁目公園）	—	—	—	4.50	—	—	—
24	さつきヶ丘（さつきヶ丘公園）	—	—	—	0.49	—	—	—
25	大字清滝（大阪電気通信大学）	—	—	—	15.0	—	—	—
26	大字下田原（飯盛霊園アスレティック広場）	—	—	—	4.4	—	—	—
27	大字下田原（寝屋川市立野外活動センター）	—	—	—	—	1.0	—	—
28	岡山東（青少年コミュニティ運動広場）	—	—	—	—	—	0.057	—
29	岡山東（忍ヶ丘小学校）	—	—	—	—	—	—	0.035
—	生駒市 北田原町	4.4	—	—	—	—	—	—
—	俵口町	0.92	—	—	0.078	—	—	—
—	小明町	—	—	—	0.12	—	—	—

注1) 表中の番号は、図4-2.9の番号に対応している。なお、生駒市については、測定場所の詳細が出典に記載されていない。

注2) ダイオキシン類の環境基準は、1,000pg-TEQ/g以下であること。

出典：「なわての環境 平成21・23年版」（平成22・24年、四條畷市）

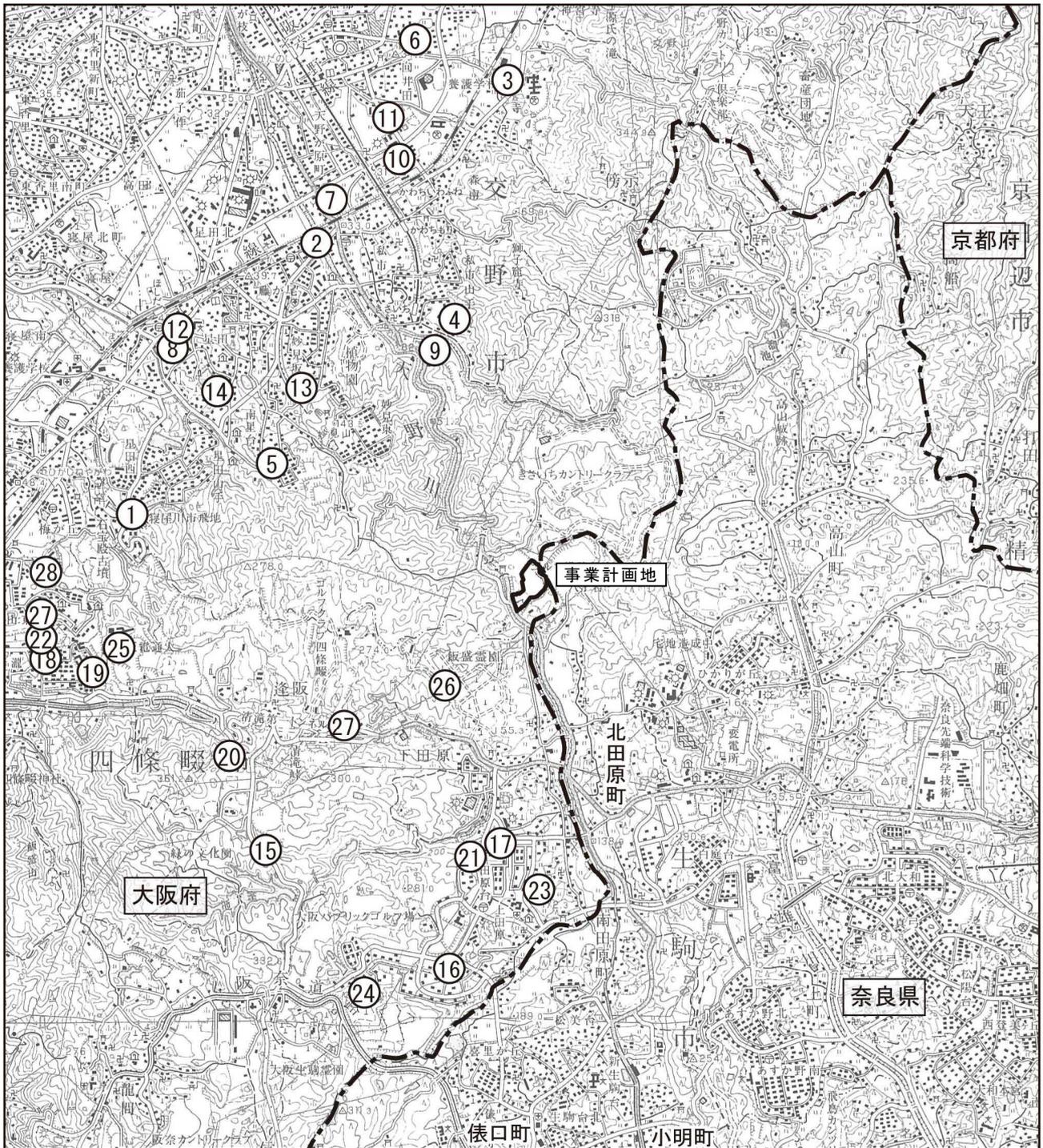
「交野の環境 平成23年版」（平成24年、交野市）

「大阪府環境白書 平成17～21年版」（平成17～21年、大阪府）

「おおさかの環境2010～大阪府環境白書より～」（大阪府ホームページ）

「おおさかの環境2011～大阪府環境白書より～」（大阪府ホームページ）

「平成16～22年度環境調査報告書（ダイオキシン類編）」（奈良県ホームページ）より作成



凡 例  事業計画地    - - - 府県境

①~⑲ 調査地点



1:50,000



図4-2.9 土壌調査地点

#### 4-2-4. その他生活環境

##### (1) 騒音

##### 1) 環境騒音（道路に面しない地域）

事業計画地周辺における環境騒音の測定地点は図4-2.10に示すとおり、交野市7地点、四條畷市2地点及び生駒市1地点の計10地点である。

測定結果は表4-2.23に示すとおり、全ての地点で環境基準に適合している。

表4-2.23 環境騒音の測定結果

(単位：デシベル)

地点 番号	測定地点	用途地域	測定 年度	地域 の 類型	昼間 (6~22時)			夜間 (22時~翌日6時)		
					等価騒音 レベル (L <sub>Aeq</sub> )	環境基準		等価騒音 レベル (L <sub>Aeq</sub> )	環境基準	
						適否	基準値		適否	基準値
1	星田2-5	第1種中高層住居	21	A	45	○	55	39	○	45
2	南星台4-2	第1種低層住居	21	A	44	○	55	35	○	45
3	妙見坂5-9	第2種中高層住居	21	A	47	○	55	37	○	45
4	交野市 妙見東3-6	第1種低層住居	21	A	43	○	55	35	○	45
5	私市山手2-10	第1種低層住居	21	A	44	○	55	35	○	45
6	私市6-22	第1種中高層住居	21	A	45	○	55	39	○	45
7	寺2-18	第1種低層住居	22	A	36	○	55	31	○	45
8	四條畷市 田原台4-19	第1種低層住居	22	A	46	○	55	35	○	45
9	下田原1441	市街化調整区域	22	B	45	○	55	39	○	45
10	生駒市 ひかりが丘3丁目	第1種住居	22	B	45	○	55	32	○	45

注1) 表中の番号は、図4-2.10の番号に対応している。

注2) 地域の類型 A：第1種・第2種低層住居専用地域、第1種・第2種中高層住居専用地域

B：第1種・第2種住居地域、準住居地域、用途地域の指定のない地域（市街化調整区域）等

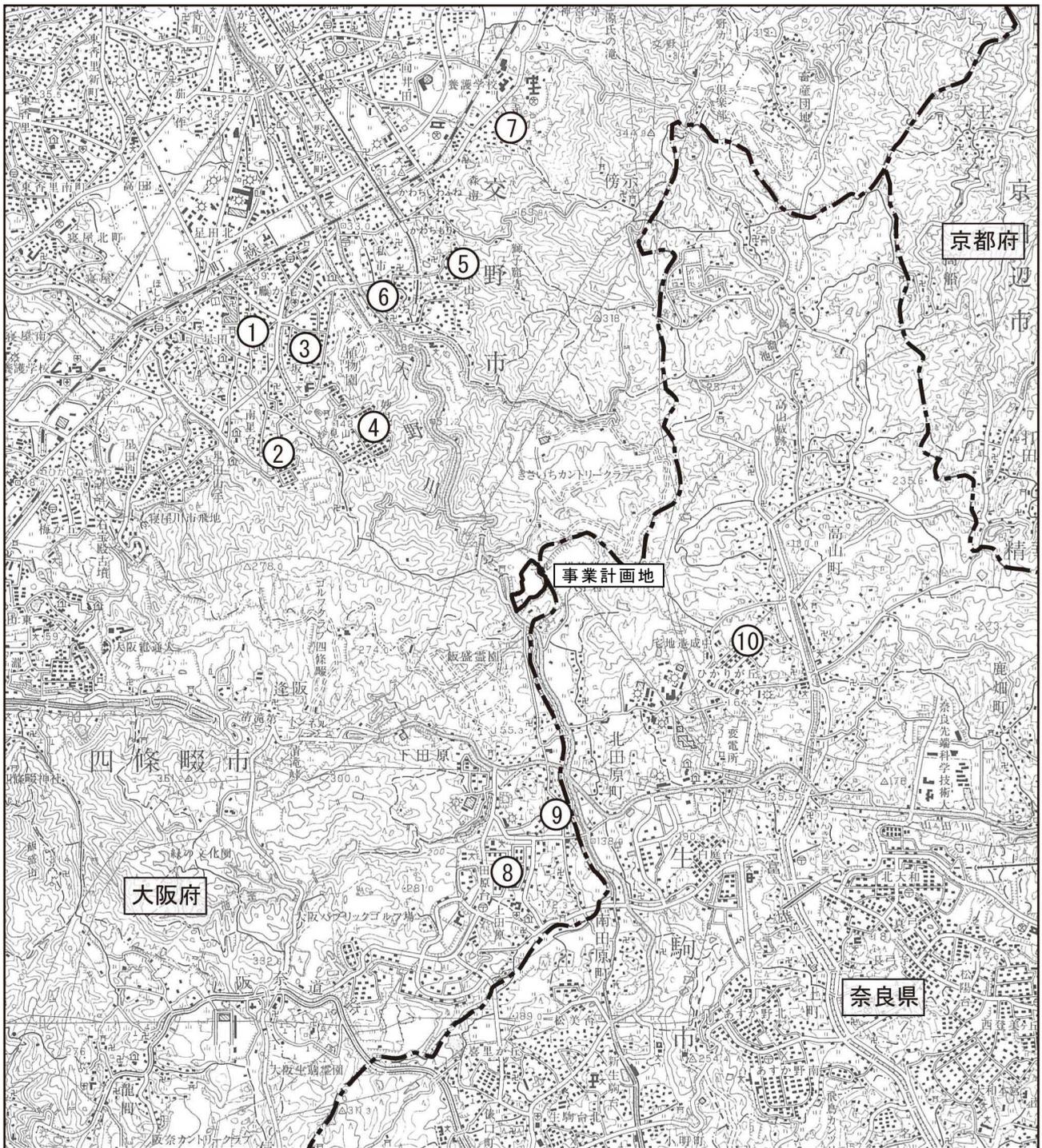
注3) 環境基準の適否の欄 ○：達成、×未達成

出典：「平成21・22年度 環境騒音モニタリング調査結果報告書」（大阪府ホームページ）

「交野の環境 平成22・23年版」（平成23・24年、交野市）

「なわての環境 平成22・23年版」（平成23・24年、四條畷市）

「生駒市の環境（平成23年度版）」（生駒市ホームページ）より作成



凡 例  事業計画地    - - - 府県境

①~⑩ 測定地点



1:50,000

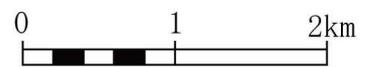


図4-2.10 環境騒音測定地点

## 2) 自動車騒音

事業計画地周辺における自動車騒音測定地点は図4-2.11に示すとおり、交野市7地点、四條畷市11地点及び生駒市2地点の計20地点である。

測定結果は表4-2.24に示すとおりであり、基準値等と比較すると、昼間7地点、夜間10地点で環境基準値を上回っており、要請限度においては昼間1地点、夜間1地点を除いて要請限度を下回っている。

表4-2.24 自動車騒音測定結果

(単位：デシベル)

地点番号	路線名	測定地点	測定年度	地域の類型	昼間 (6～22時)			夜間 (22時～翌日6時)		
					等価騒音	環境基準	要請限度	等価騒音	環境基準	要請限度
					レベル ( $L_{Aeq}$ )	上段:適否 下段:基準値	上段:適否 下段:要請限度値	レベル ( $L_{Aeq}$ )	上段:適否 下段:基準値	上段:適否 下段:要請限度値
1	府道交野久御山線	交野市青山1-14	20	近	70	○ 70	○ 75	66	× 65	○ 70
2	府道枚方交野寝屋川線	交野市郡津3-50	20	近	70	○ 70	○ 75	67	× 65	○ 70
3	一般国道168号	交野市天野が原町3-4	22	近	67	○ 70	○ 75	62	○ 65	○ 70
4	一般国道168号	交野市松塚32	22	近	63	○ 70	○ 75	59	○ 65	○ 70
5	府道枚方富田林泉佐野線	交野市星田5-29	22	近	68	○ 70	○ 75	63	○ 65	○ 70
6	府道枚方交野寝屋川線	交野市郡津5-50	22	近	70	○ 70	○ 75	67	× 65	○ 70
7	府道交野久御山線	交野市青山3-18	22	近	66	○ 70	○ 75	59	○ 65	○ 70
8	一般国道163号	四條畷市都屋285-11	20	近	57	○ 70	○ 75	52	○ 65	○ 70
9	一般国道170号	四條畷市雁屋南町	21	近	70	○ 70	○ 75	66	× 65	○ 70
10	一般国道170号	四條畷市江瀬美町16-5	21	近	75	× 70	○ 75	70	× 65	○ 70
11	一般国道163号	四條畷市中野本町1-1	22	近	77	× 70	× 75	74	× 65	× 70
12	一般国道170号	四條畷市雁屋北町7-33	22	近	71	× 70	○ 75	66	× 65	○ 70
13	府道中垣内南田原線	四條畷市田原台9-7-30	22	近	65	○ 70	○ 75	59	○ 65	○ 70
14	市道田原中央線	四條畷市田原台2-3-20	22	A	66	× 60	○ 70	62	× 55	○ 65
15	市道田原中央線	四條畷市田原台4-4-25	22	A	68	× 60	○ 70	62	× 55	○ 65
16	市道田原辰巳谷線	四條畷市田原台3-17-11	22	A	60	○ 60	○ 70	51	○ 55	○ 65
17	府道中垣内南田原線	四條畷市田原台4-7-9	22	近	64	○ 70	○ 75	57	○ 65	○ 70
18	一般国道163号	四條畷市中野3	22	近	58	○ 70	○ 75	53	○ 65	○ 70
19	市道高山北田原線	生駒市ひかりが丘1丁目	22	B	66	× 65	○ 75	56	○ 60	○ 70
20	一般国道163号	生駒市北田原町東交差点の西側	22	近	71	× 70	○ 75	69	× 65	○ 70

注1) 表中の番号は、図4-2.11の番号に対応している。

注2) 地域の類型 A：第1種・第2種低層住居専用地域、第1種・第2種中高層住居専用地域（大阪府）

B：第1種・第2種住居地域、準住居地域（奈良県）

近：幹線交通を担う道路に近接する空間の特例

注3) 環境基準の適否の欄 ○：達成、×未達成

要請限度の適否の欄 ○：要請限度値以下、×要請限度値超過

出典：「平成20～22年度 環境騒音モニタリング調査結果報告書」（大阪府ホームページ）

「生駒市の環境（平成23年度版）」（生駒市ホームページ）より作成

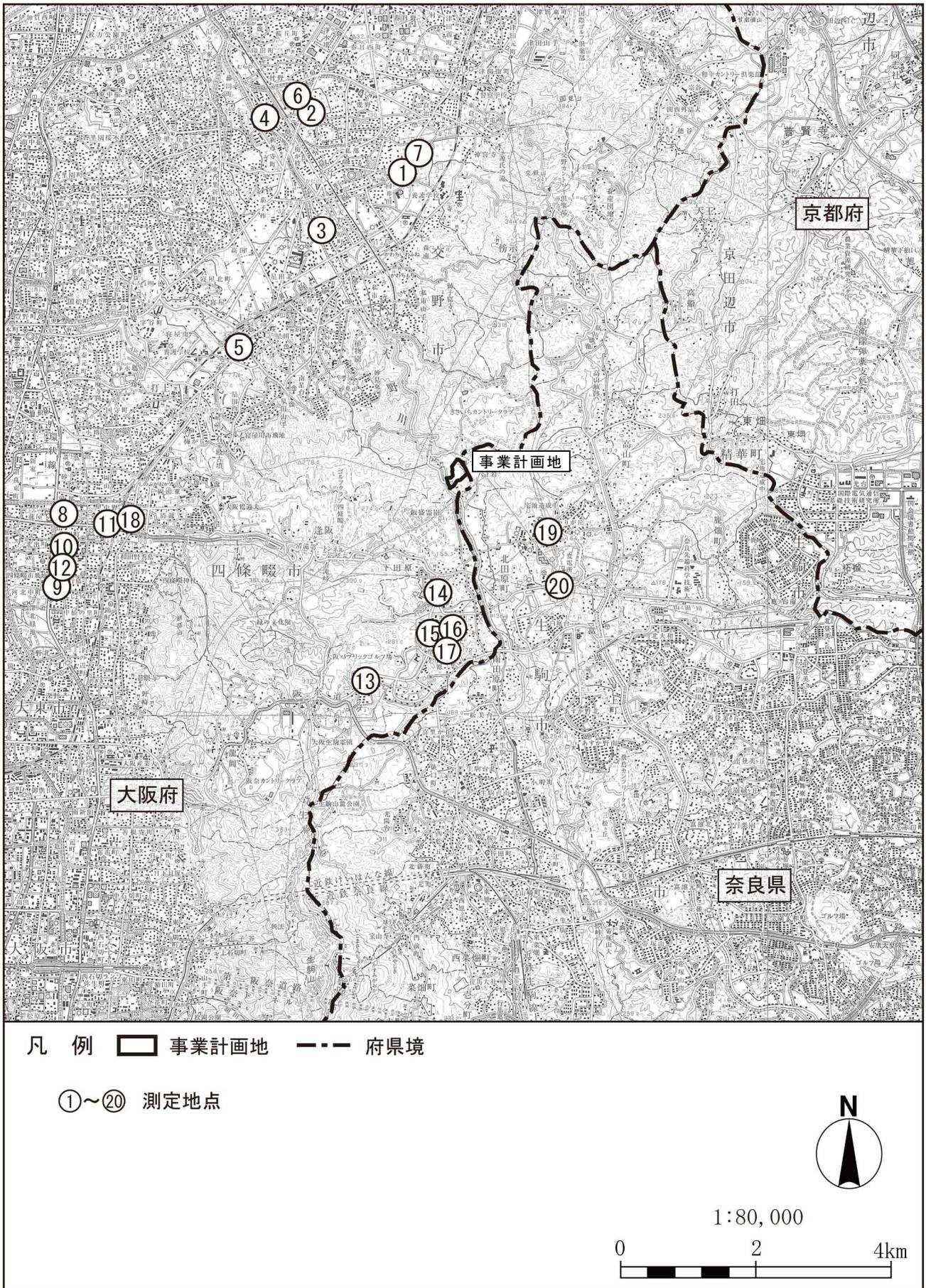


図4-2.11 自動車騒音測定地点

## (2) 振動

事業計画地周辺における道路交通振動測定地点は図4-2.12に示すとおり、交野市11地点及び生駒市1地点の12地点である。

測定結果は表4-2.25に示すとおりであり、全ての道路で要請限度を下回っている。

表4-2.25 道路交通振動測定結果

(単位：デシベル)

地点番号	路線名	測定地点	区域の区分	測定年度	昼間		夜間	
					振動レベル(L <sub>10</sub> )	要請限度 上段:適否 下段:要請限度値	振動レベル(L <sub>10</sub> )	要請限度 上段:適否 下段:要請限度値
1	一般国道168号	交野市私部西3-1	第1種区域	21	48	○ 65	36	○ 60
2	一般国道168号	交野市私市5-27	第1種区域	21	40	○ 65	31	○ 60
3	府道交野久御山線	交野市青山2-4	第1種区域	21	45	○ 65	38	○ 60
4	府道交野久御山線	交野市森北1-2	第1種区域	21	42	○ 65	34	○ 60
5	市道私部西線	交野市天野が原町1-4	第1種区域	21	41	○ 65	38	○ 60
6	市道星田北線	交野市星田2-16	第1種区域	21	42	○ 65	39	○ 60
7	府道交野久御山線	交野市星田北1-50	第2種区域	21	40	○ 70	30	○ 65
8	府道枚方富田林泉佐野線	交野市星田4-16	第1種区域	21	45	○ 65	39	○ 60
9	府道枚方富田林泉佐野線	交野市星田北5-2	第2種区域	22	40	○ 70	37	○ 65
10	一般国道168号	交野市天野が原町2-21	第1種区域	22	41	○ 65	32	○ 60
11	府道交野久御山線	交野市青山3-17	第1種区域	22	35	○ 65	31	○ 60
12	一般国道163号	生駒市北田原町東交差点の西側	第2種区域	22	47	○ 70	43	○ 65

注1) 表中の番号は、図4-2.12の番号に対応している。

注2) 交野市では昼間6～21時、夜間21～6時、生駒市では、昼間8～19時、夜間19～8時。

注3) 区域の区分

第1種区域：第1種・第2種低層住居専用地域、第1種・第2種中高層住居専用地域、第1種・第2種住居地域、準住居地域、用途地域の指定のない地域等

第2種区域：近隣商業・商業地域、準工業・工業地域

注4) 振動規制法第16条に基づく道路交通振動に係る要請限度値。

注5) 四條畷市域の測定地点はない。

出典：「平成21～22年度 環境騒音モニタリング調査結果報告書」（大阪府ホームページ）  
「生駒市の環境（平成23年度版）」（生駒市ホームページ）より作成

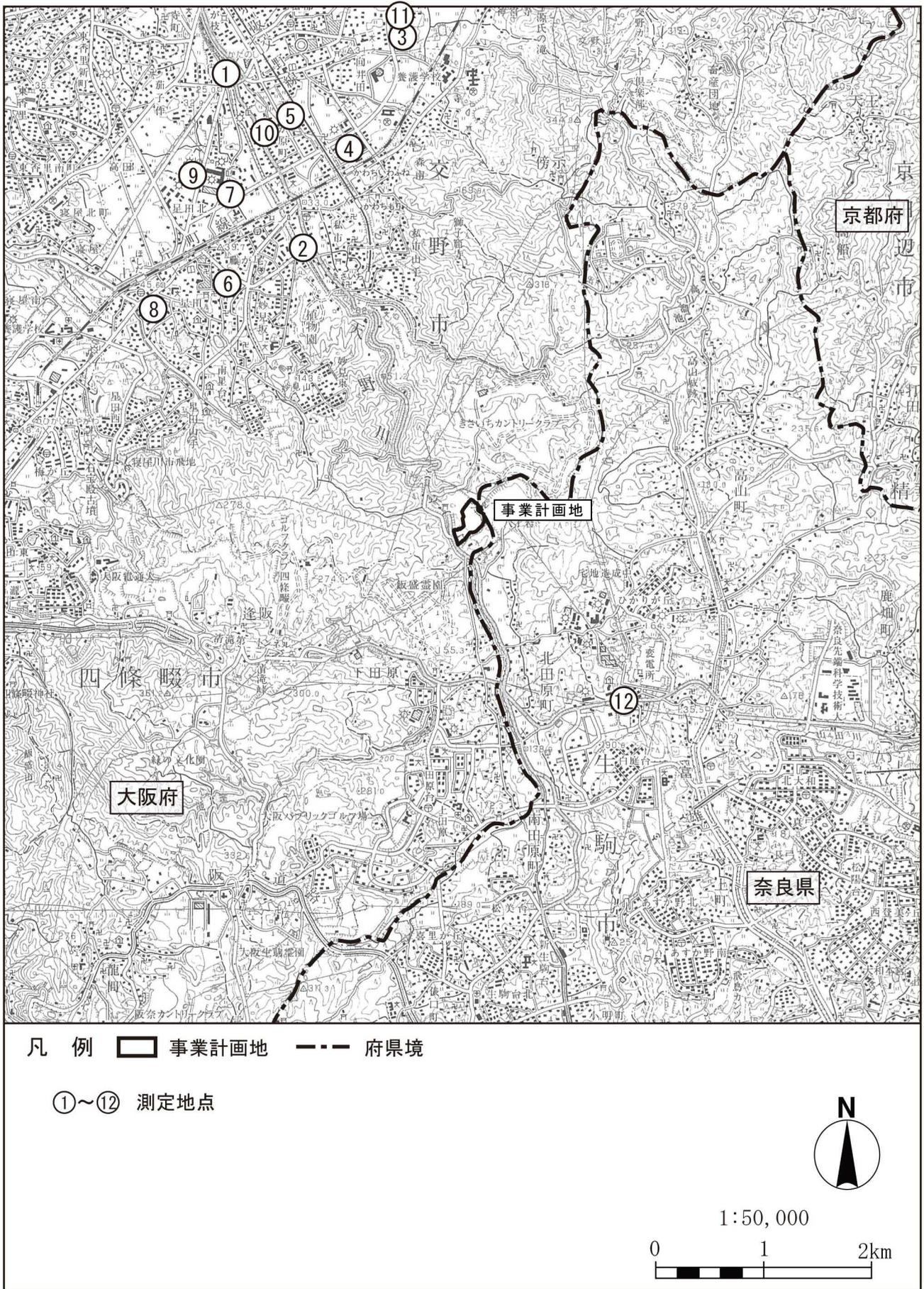
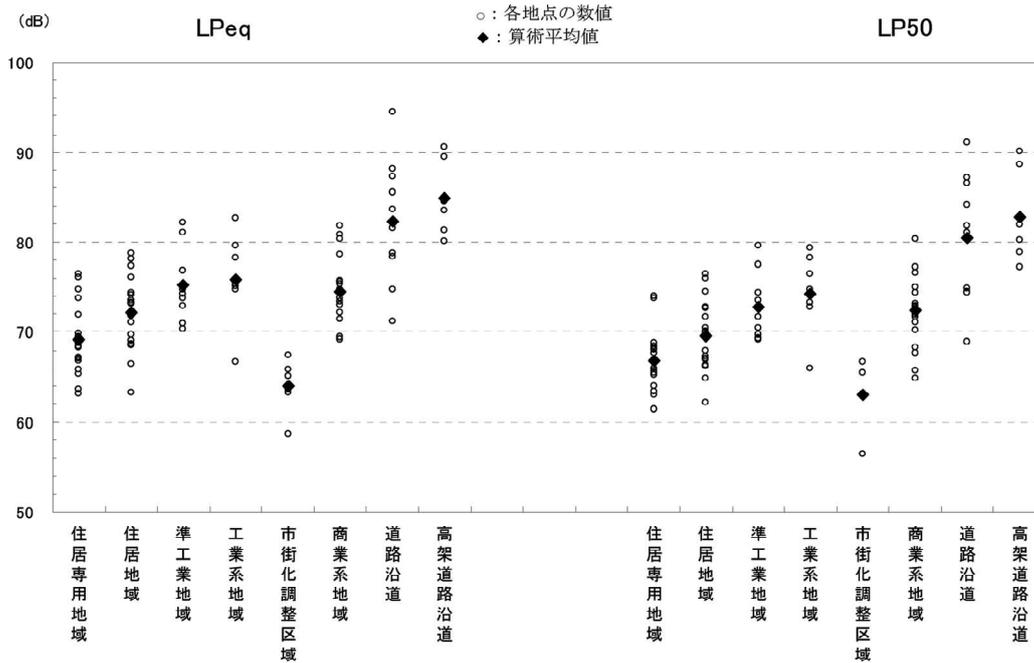


図4-2.12 道路交通振動測定地点

### (3) 低周波音

大阪府内における一般環境中の低周波音の音圧レベルは、図4-2.13に示すとおりである。高架道路沿道及び道路沿道が相対的に高い値であり、市街化調整区域及び住居系地域が低い値となっている。

平成23年に北田原町（国道168号）で実施した測定結果は表4-2.26に示すとおりであり、心身に係る苦情に関する参考値よりも低い値となっている。



注1) 平成14～16年度に93地点で測定。  
 注2) 図左側は、1～90Hzのオーバーオール等の等価騒音レベル (Leq) を示す。  
 注3) 図右側は、1～90Hzのオーバーオール等の時間率騒音レベルの中央値 (L<sub>50</sub>) を示す。  
 注4) 両図とも平坦値 (聴感補正なし) を示す。  
 出典：「おおさかの環境2011～大阪府環境白書より～」 (大阪府ホームページ)

図4-2.13 大阪府内における一般環境中の低周波音の音圧レベル

表4-2.26(1) 低周波音測定結果

調査地点	時間区分	G特性音圧レベル (L <sub>Geq</sub> ) (dB)		心身に係る苦情に関する参考値 (dB)
		平日	休日	
北田原町 (国道168号)	昼間	80	76	92
	夜間	70	66	92

注1) 時間区分 昼間：6～22時、夜間：22～6時  
 注2) 調査日 平日：平成23年11月14日18時～15日18時、休日：平成23年11月13日0～24時  
 注3) 平坦特性の1/3オクターブ分析結果は、表4-2.26(2)に示す。  
 出典：四條畷市交野市清掃施設組合測定データより作成

表 4-2. 26 (2) 平坦特性の 1/3 オクターブ分析結果 (沿道環境)

調査地点：北田原町 (国道 168 号)

中心周波数 (Hz)	平坦特性音圧レベル・L <sub>eq</sub> (dB)			
	平日		休日	
	昼間	夜間	昼間	夜間
A. P.	81	71	80	71
1	67	60	75	59
1. 25	68	61	74	61
1. 6	68	60	71	61
2	69	59	67	59
2. 5	69	56	62	57
3. 15	69	53	58	52
4	69	52	55	46
5	69	50	51	44
6. 3	69	49	50	42
8	68	50	48	41
10	67	50	52	45
12. 5	65	53	54	48
16	64	56	57	50
20	67	57	65	53
25	70	58	66	56
31. 5	68	59	65	57
40	69	62	67	60
50	71	63	67	60
63	69	60	68	59
80	67	60	67	64

注 1) 昼間:6~22 時、夜間:22~6 時 (騒音に係る環境基準の時間の区分)

注 2) 各時間帯の値は、エネルギー平均により算出した。

注 3) A. P. は、1~80Hz の各周波数帯域の音圧レベルの合成値を表す。

#### (4) 公害苦情

交野市、四條畷市及び生駒市における平成22年度の公害の種類別苦情受付件数は、表4-2. 27に示すとおりである。公害の種類別にみると、大気汚染、水質汚濁及び騒音が多くなっている。

表4-2. 27 公害の種類別苦情受付件数 (平成22年度)

公害の種類		交野市	四條畷市	生駒市
典型 7 公害	大気汚染	25	15	1
	水質汚濁	13	3	7
	土壌汚染	0		0
	騒音	19	18	3
	振動	1	0	0
	地盤沈下	0		0
	悪臭	10	11	1
	小計	68	47	12
その他		1	3	
合計		69	50	12

注) 網掛けは、出典に分類がないものを示す。

出典：「交野の環境 平成23年版」(平成24年、交野市)

「なわての環境 平成23年版」(平成24年、四條畷市)

「生駒市の環境 (平成23年度版)」(生駒市ホームページ) より作成